

【表紙】

【提出書類】	半期報告書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	2026年8月10日提出
【計算期間】	第19期中(自 2025年11月11日至 2026年5月10日)
【ファンド名】	S B I 資産設計オープン（資産成長型）
【発行者名】	三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小林 隆宏
【本店の所在の場所】	東京都港区芝公園一丁目 1 番 1 号
【事務連絡者氏名】	北添 道生
【連絡場所】	東京都港区芝公園一丁目 1 番 1 号
【電話番号】	03-6453-3610
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【ファンドの運用状況】

以下は、2026年5月29日現在の状況について記載してあります。

【SBI資産設計オープン（資産成長型）】

（１）【投資状況】

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	47,122,078,345	98.54
現金・預金・その他の資産（負債控除後）	—	696,482,804	1.46
合計（純資産総額）		47,818,561,149	100.00

（注1）国／地域は、発行体の所在地によって記載しております。

（注2）投資比率とは、本ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

（２）【運用実績】

【純資産の推移】

		純資産総額（円）		1万口当たりの純資産額（円）	
		（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第9期計算期間末	（2016年11月10日）	23,607,510,913	23,607,510,913	12,934	12,934
第10期計算期間末	（2017年11月10日）	27,121,536,141	27,121,536,141	14,990	14,990
第11期計算期間末	（2018年11月12日）	28,791,451,233	28,791,451,233	15,040	15,040
第12期計算期間末	（2019年11月11日）	31,489,407,387	31,489,407,387	16,058	16,058
第13期計算期間末	（2020年11月10日）	30,935,776,510	30,935,776,510	15,922	15,922
第14期計算期間末	（2021年11月10日）	36,212,394,728	36,212,394,728	19,104	19,104
第15期計算期間末	（2022年11月10日）	37,026,185,282	37,026,185,282	18,922	18,922
第16期計算期間末	（2023年11月10日）	40,692,815,617	40,692,815,617	20,655	20,655
第17期計算期間末	（2024年11月11日）	43,753,374,644	43,753,374,644	23,768	23,768
第18期計算期間末	（2025年11月10日）	45,565,964,218	45,565,964,218	26,221	26,221
	2025年 5月末日	41,423,249,858	—	23,323	—
	6月末日	42,264,275,351	—	23,853	—
	7月末日	43,308,472,528	—	24,554	—
	8月末日	43,734,589,133	—	24,891	—
	9月末日	44,349,718,936	—	25,353	—
	10月末日	45,770,659,959	—	26,293	—
	11月末日	46,267,463,357	—	26,673	—
	12月末日	46,000,551,601	—	26,781	—
	2026年 1月末日	45,845,119,781	—	26,887	—
	2月末日	47,635,776,975	—	28,008	—
	3月末日	44,997,009,273	—	26,502	—
	4月末日	47,063,650,167	—	27,808	—
	5月末日	47,818,561,149	—	28,377	—

【分配の推移】

	期 間	1万口当たりの分配金（円）
--	-----	---------------

第9期計算期間	2015年11月11日～2016年11月10日	0
第10期計算期間	2016年11月11日～2017年11月10日	0
第11期計算期間	2017年11月11日～2018年11月12日	0
第12期計算期間	2018年11月13日～2019年11月11日	0
第13期計算期間	2019年11月12日～2020年11月10日	0
第14期計算期間	2020年11月11日～2021年11月10日	0
第15期計算期間	2021年11月11日～2022年11月10日	0
第16期計算期間	2022年11月11日～2023年11月10日	0
第17期計算期間	2023年11月11日～2024年11月11日	0
第18期計算期間	2024年11月12日～2025年11月10日	0

【収益率の推移】

	期 間	収益率（％）
第9期計算期間	2015年11月11日～2016年11月10日	7.3
第10期計算期間	2016年11月11日～2017年11月10日	15.9
第11期計算期間	2017年11月11日～2018年11月12日	0.3
第12期計算期間	2018年11月13日～2019年11月11日	6.8
第13期計算期間	2019年11月12日～2020年11月10日	0.8
第14期計算期間	2020年11月11日～2021年11月10日	20.0
第15期計算期間	2021年11月11日～2022年11月10日	1.0
第16期計算期間	2022年11月11日～2023年11月10日	9.2
第17期計算期間	2023年11月11日～2024年11月11日	15.1
第18期計算期間	2024年11月12日～2025年11月10日	10.3
第19期中間計算期間	2025年11月11日～2026年 5月10日	6.4

(注1)収益率とは、各計算期間末の基準価額(分配付)から前計算期間末の基準価額(分配落)を控除した額を前計算期間末の基準価額(分配落)で除して得た数に100を乗じて得た数字です。

(注2)小数第2位を四捨五入しております。

（参考）

国内債券インデックス マザーファンド

投資状況

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
国債証券	日本	642,430,016,410	84.73
地方債証券	日本	39,872,991,640	5.26
特殊債券	日本	35,098,227,467	4.63
	韓国	396,336,000	0.05
	小計	35,494,563,467	4.68
社債券	日本	35,612,086,000	4.70
	フランス	1,469,811,000	0.19
	オーストラリア	594,888,000	0.08
	小計	37,676,785,000	4.97
現金・預金・その他の資産(負債控除後)	—	2,708,831,418	0.36

合計(純資産総額)	758,183,187,935	100.00
-----------	-----------------	--------

(注1)国／地域は、発行体の所在地によって記載しております。

(注2)投資比率とは、マザーファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

国内株式インデックス マザーファンド

投資状況

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	日本	983,823,925,570	98.06
現金・預金・その他の資産(負債控除後)	—	19,468,918,541	1.94
合計(純資産総額)		1,003,292,844,111	100.00

(注1)国／地域は、発行体の所在地によって記載しております。

(注2)投資比率とは、マザーファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

その他の資産の投資状況

資産の種類	買建 ／ 売建	国／地域	時価合計（円）	投資 比率 （％）
株価指数先物取引	買建	日本	19,017,600,000	1.90

(注1)評価にあたっては、知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、計算期間末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

(注2)投資比率とは、マザーファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

外国債券インデックス マザーファンド

投資状況

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
国債証券	アメリカ	228,549,360,300	43.44
	中国	64,982,980,895	12.35
	フランス	36,849,528,782	7.00
	イタリア	33,464,688,907	6.36
	イギリス	28,996,437,446	5.51
	ドイツ	28,694,884,589	5.45
	スペイン	22,039,393,915	4.19
	カナダ	11,021,820,854	2.09
	ベルギー	7,729,922,505	1.47
	オーストラリア	6,665,056,126	1.27
	オランダ	6,277,552,553	1.19
	オーストリア	5,274,189,896	1.00
	メキシコ	4,550,816,675	0.86
	ポーランド	3,695,464,428	0.70
	ポルトガル	2,832,032,573	0.54
	フィンランド	2,630,122,729	0.50
	マレーシア	2,607,869,101	0.50
	韓国	2,432,356,000	0.46
	イスラエル	2,276,052,857	0.43

	アイルランド	2,149,951,723	0.41
	シンガポール	1,841,242,095	0.35
	ニュージーランド	1,463,382,560	0.28
	デンマーク	970,565,794	0.18
	スウェーデン	938,228,801	0.18
	ノルウェー	848,004,748	0.16
	小計	509,781,906,852	96.88
現金・預金・その他の資産(負債控除後)	—	16,404,054,658	3.12
合計(純資産総額)		526,185,961,510	100.00

(注1)国／地域は、発行体の所在地によって記載しております。

(注2)投資比率とは、マザーファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

その他の資産の投資状況

資産の種類	買建 ／ 売建	国／地域	時価合計（円）	投資 比率 （％）
債券先物取引	買建	アメリカ	3,487,378,599	0.66
	買建	ドイツ	3,310,369,784	0.63

(注1)評価にあたっては、知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、計算期間末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

(注2)投資比率とは、マザーファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

資産の種類	買建 ／ 売建	国／地域	時価合計（円）	投資 比率 （％）
為替予約取引	買建	—	11,544,207,274	2.19
	売建	—	2,132,304,818	0.41

(注1)評価にあたっては、計算日または計算日に知りうる直近の日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値によって評価しております。発表されていない場合は、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。

(注2)投資比率とは、マザーファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

外国株式インデックス マザーファンド

投資状況

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	アメリカ	813,872,295,524	70.91
	イギリス	40,042,916,685	3.49
	カナダ	40,024,381,383	3.49
	スイス	29,505,983,977	2.57
	ドイツ	25,693,051,112	2.24
	フランス	24,874,349,317	2.17
	オランダ	21,289,893,132	1.85
	アイルランド	17,897,673,060	1.56
	オーストラリア	17,469,448,408	1.52
	スペイン	10,528,830,885	0.92
	スウェーデン	9,145,926,881	0.80
	イタリア	8,381,044,445	0.73

	デンマーク	4,737,004,400	0.41
	シンガポール	4,600,640,284	0.40
	香港	3,952,000,989	0.34
	フィンランド	3,816,665,120	0.33
	イスラエル	3,333,923,482	0.29
	ベルギー	2,608,276,053	0.23
	ケイマン	2,265,268,198	0.20
	ノルウェー	1,926,703,890	0.17
	ルクセンブルク	1,807,287,317	0.16
	ジャージー	1,550,388,070	0.14
	バミューダ	1,507,901,039	0.13
	キュラソー	1,066,762,306	0.09
	オーストリア	934,440,015	0.08
	リベリア	920,817,391	0.08
	ニュージーランド	594,950,005	0.05
	ポルトガル	524,984,817	0.05
	マン島	56,773,415	0.00
	小計	1,094,930,581,600	95.39
新株予約権証券	カナダ	-	-
投資信託受益証券	オーストラリア	96,001,053	0.01
	香港	76,372,632	0.01
	小計	172,373,685	0.02
投資証券	アメリカ	14,649,375,471	1.28
	オーストラリア	950,226,020	0.08
	フランス	396,898,526	0.03
	シンガポール	245,617,509	0.02
	イギリス	229,690,779	0.02
	香港	201,646,692	0.02
	小計	16,673,454,997	1.45
現金・預金・その他の資産(負債控除後)	—	36,038,938,730	3.14
合計(純資産総額)		1,147,815,349,012	100.00

(注1)国／地域は、発行体の所在地によって記載しております。

(注2)投資比率とは、マザーファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

その他の資産の投資状況

資産の 種類	買建 / 売建	国／地域	時価合計（円）	投資 比率 （％）
株価指数先物取引	買建	アメリカ	27,794,468,047	2.42
	買建	カナダ	790,246,224	0.07
	買建	ドイツ	4,877,554,045	0.42
	買建	イギリス	1,522,888,662	0.13
	買建	オーストラリア	934,853,922	0.08

(注1)評価にあたっては、知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、計算期間末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

(注2)投資比率とは、マザーファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

資産の種類	買建 / 売建	国 / 地域	時価合計（円）	投資 比率 （％）
為替予約取引	買建	—	1,384,737,596	0.12
	売建	—	686,852,460	0.06

(注1)評価にあたっては、計算日または計算日に知りうる直近の日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値によって評価しております。発表されていない場合は、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。

(注2)投資比率とは、マザーファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

J - R E I T インデックス マザーファンド

投資状況

資産の種類	国 / 地域	時価合計（円）	投資比率（％）
投資証券	日本	115,098,323,500	96.94
現金・預金・その他の資産(負債控除後)	—	3,634,386,187	3.06
合計(純資産総額)		118,732,709,687	100.00

(注1)国 / 地域は、発行体の所在地によって記載しております。

(注2)投資比率とは、マザーファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

その他の資産の投資状況

資産の種類	買建 / 売建	国 / 地域	時価合計（円）	投資 比率 （％）
不動産投信指数先物取引	買建	日本	3,596,470,000	3.03

(注1)評価にあたっては、知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、計算期間末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

(注2)投資比率とは、マザーファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

グローバル R E I T インデックス マザーファンド

投資状況

資産の種類	国 / 地域	時価合計（円）	投資比率（％）
投資証券	アメリカ	146,586,579,008	79.04
	オーストラリア	12,452,537,317	6.71
	イギリス	6,946,559,532	3.75
	シンガポール	5,880,118,655	3.17
	フランス	3,842,158,809	2.07
	カナダ	2,257,163,551	1.22
	ベルギー	1,984,638,047	1.07
	香港	1,608,347,435	0.87
	スペイン	1,072,771,853	0.58
	ガーンジー	420,607,035	0.23
	イスラエル	329,137,547	0.18
	韓国	326,796,639	0.18

	オランダ	293,999,947	0.16
	ニュージーランド	212,381,903	0.11
	アイルランド	73,850,522	0.04
	ドイツ	62,190,716	0.03
	イタリア	28,387,368	0.02
	小計	184,378,225,884	99.42
現金・預金・その他の資産(負債控除後)	—	1,077,291,948	0.58
合計(純資産総額)		185,455,517,832	100.00

(注1)国／地域は、発行体の所在地によって記載しております。

(注2)投資比率とは、マザーファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

その他の資産の投資状況

資産の種類	買建 / 売建	国／地域	時価合計（円）	投資 比率 （％）
不動産投信指数先物取引	買建	アメリカ	1,005,967,670	0.54

(注1)評価にあたっては、知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、計算期間末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

(注2)投資比率とは、マザーファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

資産の種類	買建 / 売建	国／地域	時価合計（円）	投資 比率 （％）
為替予約取引	買建	—	39,837,100	0.02
	売建	—	77,206,344	0.04

(注1)評価にあたっては、計算日または計算日に知りうる直近の日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値によって評価しております。発表されていない場合は、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。

(注2)投資比率とは、マザーファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

2【設定及び解約の実績】

【SBI資産設計オープン（資産成長型）】

	期 間	設定口数（口）	解約口数（口）	発行済み口数（口）
第9期計算期間	2015年11月11日～2016年11月10日	5,479,073,321	2,075,827,603	18,252,171,405
第10期計算期間	2016年11月11日～2017年11月10日	4,118,820,314	4,278,001,562	18,092,990,157
第11期計算期間	2017年11月11日～2018年11月12日	3,341,067,362	2,290,283,079	19,143,774,440
第12期計算期間	2018年11月13日～2019年11月11日	3,005,808,834	2,540,093,265	19,609,490,009
第13期計算期間	2019年11月12日～2020年11月10日	2,721,021,122	2,900,335,059	19,430,176,072
第14期計算期間	2020年11月11日～2021年11月10日	2,155,351,244	2,630,620,467	18,954,906,849
第15期計算期間	2021年11月11日～2022年11月10日	2,025,496,885	1,412,117,223	19,568,286,511
第16期計算期間	2022年11月11日～2023年11月10日	1,616,111,020	1,483,546,213	19,700,851,318
第17期計算期間	2023年11月11日～2024年11月11日	1,283,497,854	2,576,214,104	18,408,135,068
第18期計算期間	2024年11月12日～2025年11月10日	1,053,423,320	2,083,935,126	17,377,623,262
第19期中間計算期間	2025年11月11日～2026年 5月10日	474,445,588	942,119,775	16,909,949,075

(注)当該計算期間中において、本邦外における設定または解約の実績はありません。

3【ファンドの経理状況】

(1)当ファンドの中間財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則(昭和38年大蔵省令第59号)」並びに同規則第284条及び第307条の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則(平成12年総理府令第133号)」に基づいて作成しております。

なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2)当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第19期中間計算期間(2025年11月11日から2026年5月10日まで)の中間財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる中間監査を受けております。

【ＳＢＩ資産設計オープン（資産成長型）】

（１）【中間貸借対照表】

（単位：円）

	第18期 （2025年11月10日現在）	第19期中間計算期間 （2026年 5月10日現在）
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	728,757,069	730,144,949
親投資信託受益証券	44,724,750,679	46,482,944,548
未収入金	319,520,000	199,289,306
未収利息	9,340	42,934
流動資産合計	45,773,037,088	47,412,421,737
資産合計	45,773,037,088	47,412,421,737
負債の部		
流動負債		
未払解約金	42,924,516	60,767,883
未払受託者報酬	9,611,337	10,170,948
未払委託者報酬	152,822,687	161,918,580
その他未払費用	1,714,330	862,713
流動負債合計	207,072,870	233,720,124
負債合計	207,072,870	233,720,124
純資産の部		
元本等		
元本	17,377,623,262	16,909,949,075
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	28,188,340,956	30,268,752,538
（分配準備積立金）	17,893,582,828	16,938,640,060
元本等合計	45,565,964,218	47,178,701,613
純資産合計	45,565,964,218	47,178,701,613
負債純資産合計	45,773,037,088	47,412,421,737

（２）【中間損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第18期中間計算期間 自 2024年11月12日 至 2025年 5月11日	第19期中間計算期間 自 2025年11月11日 至 2026年 5月10日
営業収益		
受取利息	1,153,170	2,394,825
有価証券売買等損益	1,071,179,833	3,041,283,869
営業収益合計	1,070,026,663	3,043,678,694
営業費用		
受託者報酬	9,191,672	10,170,948
委託者報酬	146,420,234	161,918,580
その他費用	850,613	862,713
営業費用合計	156,462,519	172,952,241
営業利益又は営業損失（ ）	1,226,489,182	2,870,726,453
経常利益又は経常損失（ ）	1,226,489,182	2,870,726,453
中間純利益又は中間純損失（ ）	1,226,489,182	2,870,726,453
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（ ）	35,197,041	76,932,863
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	25,345,239,576	28,188,340,956
剰余金増加額又は欠損金減少額	751,396,887	812,139,056
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	751,396,887	812,139,056
剰余金減少額又は欠損金増加額	1,659,215,788	1,525,521,064
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	1,659,215,788	1,525,521,064
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	23,246,128,534	30,268,752,538

（３）【中間注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、基準価額で評価しております。
-----------------	---------------------------------------

（中間貸借対照表に関する注記）

	第18期 (2025年11月10日現在)	第19期中間計算期間 (2026年 5月10日現在)
1. 計算期間の末日における受益権の総数	17,377,623,262口	16,909,949,075口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) 2.6221円 (26,221円)	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) 2.7900円 (27,900円)

（中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

該当事項はありません。

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

	第19期中間計算期間 (2026年 5月10日現在)
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	中間貸借対照表上の金融商品は原則として時価で評価しているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 売買目的有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」に記載しております。 (2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（重要な後発事象に関する注記）

該当事項はありません。

（その他の注記）

元本の移動

区分	第18期 自 2024年11月12日 至 2025年11月10日	第19期中間計算期間 自 2025年11月11日 至 2026年 5月10日
投資信託財産に係る元本の状況		
期首元本額	18,408,135,068円	17,377,623,262円
期中追加設定元本額	1,053,423,320円	474,445,588円
期中一部解約元本額	2,083,935,126円	942,119,775円

（デリバティブ取引に関する注記）

該当事項はありません。

（参考）

当ファンドは親投資信託受益証券を投資対象としており、中間貸借対照表の資産の部に計上されている親投資信託受益証券の状況は次のとおりであります。

なお、以下は参考情報であり、監査意見の対象外であります。

国内債券インデックス マザーファンド

貸借対照表

	2026年 5月10日現在
項目	金額（円）
資産の部	
流動資産	
コール・ローン	610,577,346
国債証券	636,641,124,530
地方債証券	40,549,944,964
特殊債券	36,121,676,135
社債券	37,564,187,000
未収入金	279,052,750
未収利息	1,957,225,882
前払費用	136,748,982
流動資産合計	753,860,537,589
資産合計	753,860,537,589
負債の部	
流動負債	
未払解約金	571,933,548
流動負債合計	571,933,548
負債合計	571,933,548
純資産の部	
元本等	
元本	627,915,765,994
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	125,372,838,047
元本等合計	753,288,604,041
純資産合計	753,288,604,041
負債純資産合計	753,860,537,589

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

	2026年 5月10日現在
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	国債証券、地方債証券、特殊債券、社債券 移動平均法（買付約定後、最初の利払日までは個別法）に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、金融商品取引業者等の提示する価額、価格情報会社の提供する価額又は業界団体が発表する売買参考統計値等で評価しております。
2. デリバティブの評価基準及び評価方法	先物取引 債券先物取引 個別法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、金融商品取引所等の発表する計算日又は計算日に知りうる直近の日の清算値段によっております。
3. 収益及び費用の計上基準	派生商品取引等損益 約定日基準で計上しております。

（貸借対照表に関する注記）

	2026年 5月10日現在
1. 計算期間の末日における受益権の総数	627,915,765,994口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	1口当たり純資産額 1.1997円 (1万口当たり純資産額) (11,997円)

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

	2026年 5月10日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表上の金融商品は原則として時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 売買目的有価証券

	2026年 5月10日現在
	「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」に記載しております。
	(2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額 によっております。
3.金融商品の時価等に関する事項につ いての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前 提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（重要な後発事象に関する注記）

該当事項はありません。

（その他の注記）

元本の移動

区分	2026年 5月10日現在
投資信託財産に係る元本の状況	
期首	2025年11月11日
期首元本額	609,749,122,948円
期中追加設定元本額	53,783,296,383円
期中一部解約元本額	35,616,653,337円
期末元本額	627,915,765,994円
期末元本額の内訳	
エマージング株式オープン	2,227,240円
S B I 資産設計オープン（資産成長型）	6,435,078,261円
S B I 資産設計オープン（分配型）	26,916,575円
S M T 国内債券インデックス・オープン	14,366,982,017円
世界経済インデックスファンド	16,321,452,574円
D Cマイセレクション25	32,788,904,238円
D Cマイセレクション50	46,879,945,049円
D Cマイセレクション75	17,912,772,158円
D C日本債券インデックス・オープン	396,519,985円
D C日本債券インデックス・オープンS	82,821,695,002円
D C日本債券インデックス・オープンP	55,447,894,443円
D CマイセレクションS25	28,156,861,334円
D CマイセレクションS50	36,601,758,163円
D CマイセレクションS75	12,328,668,229円
D Cターゲット・イヤー ファンド2035	3,776,604,717円
D Cターゲット・イヤー ファンド2045	1,846,258,231円
D C世界経済インデックスファンド	8,776,924,191円
国内バランス60VA1（適格機関投資家専用）	2,256,295円
マイセレクション50VA1（適格機関投資家専用）	23,131,823円
マイセレクション75VA1（適格機関投資家専用）	10,713,479円
国内バランス60VA2（適格機関投資家専用）	1,720,150円
バランス30VA1（適格機関投資家専用）	39,217,285円
バランス50VA1（適格機関投資家専用）	75,638,297円
バランス25VA2（適格機関投資家専用）	23,033,448円
バランス50VA2（適格機関投資家専用）	25,194,557円
バランスA（25）VA1（適格機関投資家専用）	1,084,316,894円
バランスB（37.5）VA1（適格機関投資家専用）	758,681,337円
バランスC（50）VA1（適格機関投資家専用）	3,631,054,068円
世界バランスVA1（適格機関投資家専用）	68,988,572円
世界バランスVA2（適格機関投資家専用）	33,107,315円
バランスD（35）VA1（適格機関投資家専用）	849,207,741円
バランスE（25）VA1（適格機関投資家専用）	925,147,432円
バランスF（25）VA1（適格機関投資家専用）	1,275,341,068円
国内バランス25VA1（適格機関投資家専用）	81,289,427円
グローバル・バランスファンド・シリーズ1	8,096,005,827円
日本債券ファンド・シリーズ1	22,906,502,207円
分散投資コア戦略ファンドA	13,356,553,914円
分散投資コア戦略ファンドS	18,670,305,418円
D C世界経済インデックスファンド（株式シフト型）	706,689,127円

区分	2026年 5月10日現在
D C 世界経済インデックスファンド（債券シフト型）	3,210,093,818円
世界経済インデックスファンド（株式シフト型）	151,704,832円
世界経済インデックスファンド（債券シフト型）	68,943,639円
S M T インデックスバランス・オープン	98,765,776円
S M T 世界経済インデックス・オープン	82,932,771円
S M T 世界経済インデックス・オープン（株式シフト型）	275,252,485円
S M T 世界経済インデックス・オープン（債券シフト型）	354,220,038円
S M T 8資産インデックスバランス・オープン	36,801,554円
グローバル経済コア	1,960,011,279円
S B I 資産設計オープン（つみたてN I S A対応型）	85,359,572円
D C ターゲット・イヤー ファンド2055	76,533,922円
D C ターゲット・イヤーファンド（6資産・運用継続型）2030	447,838,194円
D C ターゲット・イヤーファンド（6資産・運用継続型）2040	329,515,928円
D C ターゲット・イヤーファンド（6資産・運用継続型）2050	123,667,326円
D C ターゲット・イヤーファンド（6資産・運用継続型）2060	114,038,575円
M y S M T 国内債券インデックス（ノーロード）	3,529,305,605円
10資産分散投資ファンド	609,378,704円
グローバル10資産バランスファンド	1,321,892,111円
D C ターゲット・イヤーファンド（ライフステージ対応型）2035	1,388,751,128円
D C ターゲット・イヤーファンド（ライフステージ対応型）2040	413,011,107円
D C ターゲット・イヤーファンド（ライフステージ対応型）2045	280,142,144円
D C ターゲット・イヤーファンド（ライフステージ対応型）2050	246,261,834円
D C ターゲット・イヤーファンド（ライフステージ対応型）2055	117,944,517円
D C ターゲット・イヤーファンド（ライフステージ対応型）2060	68,148,363円
D C ターゲット・イヤーファンド（ライフステージ対応型）2065	95,852,817円
D C マイセレクションS50（2024 - 2026リスク抑制型）	11,516,968,643円
D C ターゲット・イヤー ファンド2065	103,189円
D C ターゲット・イヤーファンド（ライフステージ対応型）2070	331,288円
D C ターゲット・イヤーファンド（ライフステージ対応型）2075	352,027円
D C ターゲット・イヤーファンド（6資産・運用継続型）2070	8,113円
F O F s 用 国内債券インデックス・ファンドP（適格機関投資家専用）	150,511,233,756円
F O F s 用世界成長戦略ファンド（適格機関投資家専用）	63,092,255円
私募世界経済パッシブファンド（適格機関投資家専用）	19,050,824円
ファンドラップ運用戦略F（中庸型）（適格機関投資家専用）	1,039,080,068円
グローバル10資産バランス・アクティブ型ファンドN1（適格機関投資家専用）	92,147円
グローバル10資産バランス・アクティブ型ファンドN2（適格機関投資家専用）	131,271円
グローバル10資産バランス・アクティブ型ファンドN3（適格機関投資家専用）	65,870円
グローバル10資産バランス・アクティブ型ファンドN4（適格機関投資家専用）	46,008円
グローバル10資産バランス・アクティブ型ファンドN5（適格機関投資家専用）	114,686円
グローバル10資産バランス・アクティブ型ファンドN6（適格機関投資家専用）	164,257円
国内債券インデックスファンドT（一般投資家私募 / 適格機関投資家転売制限付）	11,747,005,465円

（デリバティブ取引に関する注記）

該当事項はありません。

国内株式インデックス マザーファンド

貸借対照表

	2026年 5月10日現在
項目	金額（円）
資産の部	
流動資産	
コール・ローン	34,032,105,781
株式	955,026,402,710
派生商品評価勘定	888,018,350
未収入金	49,183,900
未収配当金	8,983,861,099
未収利息	667,066
その他未収収益	234,787,001
差入委託証拠金	1,106,715,349

	2026年 5月10日現在
項目	金額（円）
流動資産合計	1,000,321,741,256
資産合計	1,000,321,741,256
負債の部	
流動負債	
前受金	888,285,100
未払解約金	565,094,915
未払利息	3,590,513
受入担保金	23,484,633,729
流動負債合計	24,941,604,257
負債合計	24,941,604,257
純資産の部	
元本等	
元本	233,958,850,726
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	741,421,286,273
元本等合計	975,380,136,999
純資産合計	975,380,136,999
負債純資産合計	1,000,321,741,256

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

	2026年 5月10日現在
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、金融商品取引所等における計算日又は計算日に知りうる直近の日の最終相場(最終相場のないものについては、それに準じる価額)又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。
2. デリバティブの評価基準及び評価方法	先物取引 株価指数先物取引 個別法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、金融商品取引所等の発表する計算日又は計算日に知りうる直近の日の清算値段によっております。 当ファンドにおける派生商品評価勘定は、当該先物取引に係るものであります。
3. 収益及び費用の計上基準	(1)受取配当金 株式は、原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 (2)派生商品取引等損益 約定日基準で計上しております。

（貸借対照表に関する注記）

	2026年 5月10日現在
1. 計算期間の末日における受益権の総数	233,958,850,726口
2. 有価証券の消費貸借契約により貸し付けた有価証券	
3. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	株式 1口当たり純資産額 22,688,978,550円 (1万口当たり純資産額) 4.1690円 (41,690円)

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

	2026年 5月10日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表上の金融商品は原則として時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 売買目的有価証券

	2026年 5月10日現在
	「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」に記載しております。
	(2)デリバティブ取引 「(デリバティブ取引に関する注記)」に記載しております。
	(3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。
3.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。 また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額又は契約上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。

（重要な後発事象に関する注記）

該当事項はありません。

（その他の注記）

元本の移動

区分	2026年 5月10日現在
投資信託財産に係る元本の状況	
期首	2025年11月11日
期首元本額	243,624,292,583円
期中追加設定元本額	7,762,195,052円
期中一部解約元本額	17,427,636,909円
期末元本額	233,958,850,726円
期末元本額の内訳	
グローバル・インカム＆プラス（毎月決算型）	172,944,037円
S B I 資産設計オープン（資産成長型）	2,418,934,491円
S B I 資産設計オープン（分配型）	9,388,437円
S M T T O P I X インデックス・オープン	8,987,656,112円
世界経済インデックスファンド	7,025,885,571円
日本株式インデックス・オープン	2,427,073,787円
D C マイセクション 2 5	3,372,699,571円
D C マイセクション 5 0	12,588,679,587円
D C マイセクション 7 5	16,045,571,053円
D C 日本株式インデックス・オープン	5,739,147,640円
D C マイセクション S 2 5	2,927,633,183円
D C マイセクション S 5 0	9,780,975,530円
D C マイセクション S 7 5	11,022,477,240円
D C 日本株式インデックス・オープン S	9,901,741,079円
D C ターゲット・イヤー ファンド 2 0 3 5	375,526,943円
D C ターゲット・イヤー ファンド 2 0 4 5	353,173,906円
D C 世界経済インデックスファンド	3,546,412,740円
日本株式インデックス・オープン（S M A 専用）	131,417,388円
国内バランス 6 0 V A 1（適格機関投資家専用）	2,099,472円
マイセクション 5 0 V A 1（適格機関投資家専用）	6,164,756円
マイセクション 7 5 V A 1（適格機関投資家専用）	9,725,157円
日本株式インデックス・オープン V A 1（適格機関投資家専用）	41,645,835円
国内バランス 6 0 V A 2（適格機関投資家専用）	1,525,158円
バランス 3 0 V A 1（適格機関投資家専用）	5,877,116円
バランス 5 0 V A 1（適格機関投資家専用）	27,699,074円
バランス 2 5 V A 2（適格機関投資家専用）	7,016,785円
バランス 5 0 V A 2（適格機関投資家専用）	26,319,478円
バランス A（2 5）V A 1（適格機関投資家専用）	139,706,986円
バランス B（3 7 . 5）V A 1（適格機関投資家専用）	173,361,591円
バランス C（5 0）V A 1（適格機関投資家専用）	1,259,159,601円
世界バランス V A 1（適格機関投資家専用）	16,815,710円
世界バランス V A 2（適格機関投資家専用）	4,399,901円
バランス D（3 5）V A 1（適格機関投資家専用）	166,503,840円
バランス E（2 5）V A 1（適格機関投資家専用）	92,682,867円

区分	2026年 5月10日現在
バランスＦ（２５）ＶＡ１（適格機関投資家専用）	128,902,058円
国内バランス２５ＶＡ１（適格機関投資家専用）	8,974,064円
ＦＯＦｓ用日本株式インデックス・オープン（適格機関投資家専用）	251,257,964円
グローバル・バランスファンド・シリーズ１	2,058,557,157円
日本株式ファンド・シリーズ２	2,536,001,594円
コア投資戦略ファンド（安定型）	426,897,157円
コア投資戦略ファンド（成長型）	1,113,299,535円
分散投資コア戦略ファンドＡ	1,445,669,447円
分散投資コア戦略ファンドＳ	5,343,064,674円
ＤＣ世界経済インデックスファンド（株式シフト型）	712,027,571円
ＤＣ世界経済インデックスファンド（債券シフト型）	340,940,440円
コア投資戦略ファンド（切替型）	410,785,820円
世界経済インデックスファンド（株式シフト型）	156,614,515円
世界経済インデックスファンド（債券シフト型）	7,295,165円
ＳＭＴ インデックスバランス・オープン	32,981,361円
国内株式ＳＭＴＢセレクション（ＳＭＡ専用）	19,047,354,818円
サテライト投資戦略ファンド（株式型）	155,240,244円
ＳＭＴ 世界経済インデックス・オープン	52,199,258円
ＳＭＴ 世界経済インデックス・オープン（株式シフト型）	271,363,100円
ＳＭＴ 世界経済インデックス・オープン（債券シフト型）	37,847,801円
ＳＭＴ ８資産インデックスバランス・オープン	15,915,894円
グローバル経済コア	811,638,539円
ＳＢＩ資産設計オープン（つみたてＮＩＳＡ対応型）	36,827,506円
Ｍｙ ＳＭＴ ＴＯＰＩＸインデックス（ノーロード）	5,481,544,127円
ＤＣターゲット・イヤー ファンド２０５５	29,000,096円
コア投資戦略ファンド（切替型ワイド）	345,338,906円
コア投資戦略ファンド（積極成長型）	122,584,615円
ＤＣターゲット・イヤーファンド（６資産・運用継続型）２０３０	76,278,615円
ＤＣターゲット・イヤーファンド（６資産・運用継続型）２０４０	92,738,895円
ＤＣターゲット・イヤーファンド（６資産・運用継続型）２０５０	47,329,572円
ＤＣターゲット・イヤーファンド（６資産・運用継続型）２０６０	67,370,254円
１０資産分散投資ファンド	86,384,813円
グローバル１０資産バランスファンド	69,364,755円
ＤＣ世界経済インデックスファンド（株式特化型）	23,306,809円
ＤＣターゲット・イヤーファンド（ライフステージ対応型）２０３５	161,602,707円
ＤＣターゲット・イヤーファンド（ライフステージ対応型）２０４０	57,156,710円
ＤＣターゲット・イヤーファンド（ライフステージ対応型）２０４５	47,342,331円
ＤＣターゲット・イヤーファンド（ライフステージ対応型）２０５０	41,347,432円
ＤＣターゲット・イヤーファンド（ライフステージ対応型）２０５５	19,731,819円
ＤＣターゲット・イヤーファンド（ライフステージ対応型）２０６０	5,354,827円
ＤＣターゲット・イヤーファンド（ライフステージ対応型）２０６５	4,627,158円
ＤＣマイセレクションＳ５０（２０２４－２０２６リスク抑制型）	1,492,929,209円
ＤＣターゲット・イヤー ファンド２０６５	104,061円
ＤＣターゲット・イヤーファンド（ライフステージ対応型）２０７０	16,600円
ＤＣターゲット・イヤーファンド（ライフステージ対応型）２０７５	17,619円
ＤＣターゲット・イヤーファンド（６資産・運用継続型）２０７０	9,752円
ＦＯＦｓ用 国内株式インデックス・ファンドＰ（適格機関投資家専用）	39,763,002,239円
ＦＯＦｓ用 国内株式インデックス・ファンドＳ（適格機関投資家専用）	173,274,448円
世界株式ファンド（適格機関投資家専用）	271,030,240円
ＦＯＦｓ用世界成長戦略ファンド（適格機関投資家専用）	15,210,715円
ＳＭＴＡＭ日本株式インデックスファンドＶＬ－Ｐ（適格機関投資家専用）	48,331,731,766円
私募世界経済パッシブファンド（適格機関投資家専用）	11,908,665円
ファンドラップ運用戦略Ｆ（中庸型）（適格機関投資家専用）	227,478,109円
グローバル１０資産バランス・アクティブ型ファンドＮ１（適格機関投資家専用）	21,154円
グローバル１０資産バランス・アクティブ型ファンドＮ２（適格機関投資家専用）	20,253円
グローバル１０資産バランス・アクティブ型ファンドＮ３（適格機関投資家専用）	29,422円
グローバル１０資産バランス・アクティブ型ファンドＮ４（適格機関投資家専用）	25,643円
グローバル１０資産バランス・アクティブ型ファンドＮ５（適格機関投資家専用）	22,023円
グローバル１０資産バランス・アクティブ型ファンドＮ６（適格機関投資家専用）	20,103円
国内株式インデックスファンドＴ（一般投資家私募／適格機関投資家転売制限付）	2,683,896,960円

（デリバティブ取引に関する注記）

株式関連

（2026年 5月10日現在）

区分	種類	契約額等(円)		時価 (円)	評価損益 (円)
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引 買建	17,699,339,900	-	18,587,625,000	888,285,100
合計		17,699,339,900	-	18,587,625,000	888,285,100

(注)1.時価の算定方法

株価指数先物取引の時価については、金融商品取引所等の発表する計算日又は計算日に知りうる直近の日の清算値段で評価しております。

2.株価指数先物取引の残高は、契約金額ベースで表示しております。

3.契約額等には手数料相当額を含んでおりません。

上記取引でヘッジ会計が適用されているものはありません。

外国債券インデックス マザーファンド

貸借対照表

2026年 5月10日現在	
項目	金額（円）
資産の部	
流動資産	
預金	1,758,836,226
コール・ローン	6,880,301,108
国債証券	494,833,079,422
派生商品評価勘定	111,595,084
未収入金	5,789,533,645
未収利息	4,657,370,335
前払金	2,027,046
前払費用	371,977,191
差入委託証拠金	236,716,924
流動資産合計	514,641,436,981
資産合計	514,641,436,981
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	149,744,739
未払金	9,355,450,358
未払解約金	86,918,140
流動負債合計	9,592,113,237
負債合計	9,592,113,237
純資産の部	
元本等	
元本	124,484,190,073
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	380,565,133,671
元本等合計	505,049,323,744
純資産合計	505,049,323,744
負債純資産合計	514,641,436,981

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

	2026年 5月10日現在
1.有価証券の評価基準及び評価方法	国債証券

	2026年 5月10日現在
2.デリバティブの評価基準及び評価方法	移動平均法(買付約定後、最初の利払日まで個別法)に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、金融商品取引業者等の提示する価額、価格情報会社の提供する価額又は業界団体が発表する売買参考統計値等で評価しております。 (1)先物取引 債券先物取引 個別法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、計算日に知りうる直近の日の主たる金融商品取引所等の発表する清算値段又は最終相場によっております。 (2)為替予約取引 個別法に基づき、わが国における計算日又は計算日に知りうる直近の日の対顧客先物売買相場の仲値によって計算しております。 当ファンドにおける派生商品評価勘定は、当該先物取引及び為替予約取引に係るものであります。
3.外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	投資信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算日又は計算日に知りうる直近の日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。 なお、外貨建資産等については、「投資信託財産の計算に関する規則(平成12年総理府令第133号)」第60条の規定に基づき、通貨の種類ごとに勘定を設けて、邦貨建資産等と区分する方法を採用しております。従って、外貨の売買については、同規則第61条の規定により処理し、為替差損益を算定しております。
4.収益及び費用の計上基準	(1)派生商品取引等損益 約定日基準で計上しております。 (2)為替予約取引による為替差損益 約定日基準で計上しております。

(貸借対照表に関する注記)

	2026年 5月10日現在
1. 計算期間の末日における受益権の総数	124,484,190,073口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	1口当たり純資産額 4.0571円 (1万口当たり純資産額) (40,571円)

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

	2026年 5月10日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表上の金融商品は原則として時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 売買目的有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」に記載しております。 (2)デリバティブ取引 「(デリバティブ取引に関する注記)」に記載しております。 (3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。 また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額又は契約上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。

(重要な後発事象に関する注記)

該当事項はありません。

（その他の注記）

元本の移動

区分	2026年 5月10日現在
投資信託財産に係る元本の状況	
期首	2025年11月11日
期首元本額	116,432,568,370円
期中追加設定元本額	10,147,271,757円
期中一部解約元本額	2,095,650,054円
期末元本額	124,484,190,073円
期末元本額の内訳	
外国債券オープン（毎月決算型）	955,697,922円
グローバル・インカム&プラス（毎月決算型）	391,472,438円
財産四分法ファンド（毎月決算型）	295,418,218円
S B I 資産設計オープン（資産成長型）	2,278,492,699円
S B I 資産設計オープン（分配型）	9,283,902円
S M T グローバル債券インデックス・オープン	7,164,921,615円
世界経済インデックスファンド	35,873,824,842円
D C マイセレクション 2 5	1,636,660,438円
D C マイセレクション 5 0	1,743,740,959円
D C マイセレクション 7 5	1,567,500,752円
D C 外国債券インデックス・オープン	2,150,715,009円
D C マイセレクション S 2 5	1,399,403,899円
D C マイセレクション S 5 0	1,356,603,808円
D C マイセレクション S 7 5	1,081,706,699円
D C ターゲット・イヤー ファンド 2 0 3 5	92,135,994円
D C ターゲット・イヤー ファンド 2 0 4 5	58,753,366円
D C 世界経済インデックスファンド	18,750,374,637円
外国債券インデックス・オープン（S M A 専用）	405,817,907円
マイセレクション 5 0 V A 1（適格機関投資家専用）	868,635円
マイセレクション 7 5 V A 1（適格機関投資家専用）	946,900円
外国債券インデックス・オープン V A 1（適格機関投資家専用）	5,849,893円
バランス 3 0 V A 1（適格機関投資家専用）	13,187,627円
バランス 5 0 V A 1（適格機関投資家専用）	26,754,968円
バランス 2 5 V A 2（適格機関投資家専用）	33,631,440円
バランス 5 0 V A 2（適格機関投資家専用）	42,039,792円
バランス A（2 5）V A 1（適格機関投資家専用）	314,994,063円
バランス B（3 7 . 5）V A 1（適格機関投資家専用）	280,995,555円
バランス C（5 0）V A 1（適格機関投資家専用）	1,297,645,887円
世界バランス V A 1（適格機関投資家専用）	41,960,545円
世界バランス V A 2（適格機関投資家専用）	15,377,963円
バランス D（3 5）V A 1（適格機関投資家専用）	245,578,999円
バランス E（2 5）V A 1（適格機関投資家専用）	90,706,112円
バランス F（2 5）V A 1（適格機関投資家専用）	126,783,474円
F O F s 用外国債券オープン（適格機関投資家専用）	547,609,511円
グローバル債券ファンド・シリーズ 1（適格機関投資家専用）	785,651,749円
グローバル・バランスファンド・シリーズ 1	654,985,837円
外国債券ファンド・シリーズ 1	1,111,751,140円
分散投資コア戦略ファンド A	1,135,808,819円
分散投資コア戦略ファンド S	2,604,608,495円
D C 世界経済インデックスファンド（株式シフト型）	1,228,773,403円
D C 世界経済インデックスファンド（債券シフト型）	5,355,593,227円
世界経済インデックスファンド（株式シフト型）	261,196,231円
世界経済インデックスファンド（債券シフト型）	113,115,368円
S M T グローバル債券インデックス・オープン（為替ヘッジあり）	1,161,842,094円
S M T インデックスバランス・オープン	168,804,322円
S M T 世界経済インデックス・オープン	687,681,925円
S M T 世界経済インデックス・オープン（株式シフト型）	1,161,727,755円
S M T 世界経済インデックス・オープン（債券シフト型）	1,457,169,661円
S M T 8 資産インデックスバランス・オープン	12,268,355円
グローバル経済コア	4,472,167,437円
S B I 資産設計オープン（つみたて N I S A 対応型）	30,335,869円
D C ターゲット・イヤー ファンド 2 0 5 5	3,671,171円

区分	2026年 5月10日現在
D C ターゲット・イヤーファンド（６資産・運用継続型）２０３０	77,550,989円
D C ターゲット・イヤーファンド（６資産・運用継続型）２０４０	176,622,919円
D C ターゲット・イヤーファンド（６資産・運用継続型）２０５０	108,723,544円
D C ターゲット・イヤーファンド（６資産・運用継続型）２０６０	168,565,014円
M y S M T グローバル債券インデックス（ノーロード）	1,858,735,640円
１０資産分散投資ファンド	35,365,683円
グローバル１０資産バランスファンド	68,942,261円
D C ターゲット・イヤーファンド（ライフステージ対応型）２０３５	140,552,431円
D C ターゲット・イヤーファンド（ライフステージ対応型）２０４０	45,430,213円
D C ターゲット・イヤーファンド（ライフステージ対応型）２０４５	34,741,225円
D C ターゲット・イヤーファンド（ライフステージ対応型）２０５０	30,173,570円
D C ターゲット・イヤーファンド（ライフステージ対応型）２０５５	14,522,924円
D C ターゲット・イヤーファンド（ライフステージ対応型）２０６０	5,837,795円
D C ターゲット・イヤーファンド（ライフステージ対応型）２０６５	6,911,489円
D C マイセクションＳ５０（２０２４－２０２６リスク抑制型）	544,646,173円
D C ターゲット・イヤー ファンド２０６５	9,785円
D C ターゲット・イヤーファンド（ライフステージ対応型）２０７０	24,380円
D C ターゲット・イヤーファンド（ライフステージ対応型）２０７５	26,007円
D C ターゲット・イヤーファンド（６資産・運用継続型）２０７０	22,639円
F O F s 用 外国債券インデックス・ファンドP（適格機関投資家専用）	17,364,853,035円
F O F s 用世界成長戦略ファンド（適格機関投資家専用）	246,765,548円
私募世界経済パッシブファンド（適格機関投資家専用）	150,222,445円
グローバル１０資産バランス・アクティブ型ファンドN１（適格機関投資家専用）	26,016円
グローバル１０資産バランス・アクティブ型ファンドN２（適格機関投資家専用）	17,419円
グローバル１０資産バランス・アクティブ型ファンドN３（適格機関投資家専用）	12,172円
グローバル１０資産バランス・アクティブ型ファンドN４（適格機関投資家専用）	9,294円
グローバル１０資産バランス・アクティブ型ファンドN５（適格機関投資家専用）	11,970円
グローバル１０資産バランス・アクティブ型ファンドN６（適格機関投資家専用）	9,003円
外国債券インデックスファンドT（一般投資家私募／適格機関投資家転売制限付）	700,249,164円

（デリバティブ取引に関する注記）

債券関連

（2026年 5月10日現在）

区分	種類	契約額等(円)		時価 (円)	評価損益 (円)
			うち1年超		
市場取引	債券先物取引 買建	3,516,857,265	-	3,514,830,219	2,027,046
合計		3,516,857,265	-	3,514,830,219	2,027,046

（注）1.時価の算定方法

債券先物取引の時価については、計算日に知りうる直近の日の主たる金融商品取引所等の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。

2.債券先物取引の残高は、契約金額ベースで表示しております。

3.計算日又は計算日に知りうる直近の日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算しております。

4.契約額等には手数料相当額を含んでおりません。

上記取引でヘッジ会計が適用されているものではありません。

通貨関連

（2026年 5月10日現在）

区分	種類	契約額等(円)		時価 (円)	評価損益 (円)
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引 買建	14,563,654,756	-	14,445,293,259	118,361,497
	アメリカドル	5,709,183,728	-	5,642,539,440	66,644,288
	カナダドル	460,329,796	-	456,366,983	3,962,813
	ユーロ	3,617,797,392	-	3,570,092,617	47,704,775

	イギリスポンド	682,516,331	-	676,503,024	6,013,307
	韓国ウォン	1,301,064,674	-	1,319,959,241	18,894,567
	オフショア人民元	2,792,762,835	-	2,779,831,954	12,930,881
	売建	7,303,928,105	-	7,221,689,217	82,238,888
	アメリカドル	3,503,744,765	-	3,462,431,712	41,313,053
	カナダドル	277,072,236	-	273,590,282	3,481,954
	ユーロ	2,214,327,223	-	2,189,190,367	25,136,856
	イギリスポンド	406,343,936	-	402,072,552	4,271,384
	オフショア人民元	902,439,945	-	894,404,304	8,035,641
	合計	21,867,582,861	-	21,666,982,476	36,122,609

(注)時価の算定方法

わが国における計算日又は計算日に知りうる直近の日の対顧客先物売買相場の仲値によって、以下のように評価しております。

計算日又は計算日に知りうる直近の日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値によって評価しております。

計算日又は計算日に知りうる直近の日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。

上記取引でヘッジ会計が適用されているものではありません。

外国株式インデックス マザーファンド

貸借対照表

	2026年 5月10日現在
項目	金額（円）
資産の部	
流動資産	
預金	27,438,979,577
コール・ローン	465,763,131
株式	1,052,124,472,528
投資信託受益証券	178,561,549
投資証券	16,400,175,875
派生商品評価勘定	2,606,083,858
未収入金	40,764,246
未収配当金	796,758,612
未収利息	9,129
差入委託証拠金	10,653,871,242
流動資産合計	1,110,705,439,747
資産合計	1,110,705,439,747
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	19,901,895
前受金	2,586,283,643
未払解約金	430,132,206
流動負債合計	3,036,317,744
負債合計	3,036,317,744
純資産の部	
元本等	
元本	118,376,543,923
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	989,292,578,080
元本等合計	1,107,669,122,003
純資産合計	1,107,669,122,003
負債純資産合計	1,110,705,439,747

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

	2026年 5月10日現在
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	(1)株式 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、金融商品取引所等における計算日に知りうる直近の日の最終相場(最終相場のないものについては、それに準じる価額)又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。 (2)新株予約権証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、金融商品取引所等における計算日に知りうる直近の日の最終相場(金融商品取引所等の上場されるまでの間は、気配相場又は取得価額)、金融商品取引業者等の提示する価額、価格情報会社の提供する価額又は業界団体が発表する売買参考統計値等に基づいて評価しております。 (3)投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、金融商品取引所等における計算日に知りうる直近の日の最終相場(最終相場のないものについては、それに準じる価額)、金融商品取引業者等の提示する価額、価格情報会社の提供する価額又は業界団体が発表する売買参考統計値等に基づいて評価しております。 (4)投資証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、金融商品取引所等における計算日に知りうる直近の日の最終相場(最終相場のないものについては、それに準じる価額)、金融商品取引業者等の提示する価額、価格情報会社の提供する価額又は業界団体が発表する売買参考統計値等に基づいて評価しております。
2. デリバティブの評価基準及び評価方法	(1)先物取引 株価指数先物取引 個別法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、計算日に知りうる直近の日の主たる金融商品取引所等の発表する清算値段又は最終相場によっております。 (2)為替予約取引 個別法に基づき、わが国における計算日又は計算日に知りうる直近の日の対顧客先物売買相場の仲値によって計算しております。 当ファンドにおける派生商品評価勘定は、当該先物取引及び為替予約取引に係るものであります。
3. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	投資信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算日又は計算日に知りうる直近の日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。 なお、外貨建資産等については、「投資信託財産の計算に関する規則(平成12年総理府令第133号)」第60条の規定に基づき、通貨の種類ごとに勘定を設けて、邦貨建資産等と区分する方法を採用しております。従って、外貨の売買については、同規則第61条の規定により処理し、為替差損益を算定しております。
4. 収益及び費用の計上基準	(1)受取配当金 株式及び投資証券は、原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 投資信託受益証券は、原則として収益分配金落の売買が行われる日において、当該収益分配金額を計上しております。 (2)派生商品取引等損益 約定日基準で計上しております。 (3)為替予約取引による為替差損益 約定日基準で計上しております。

（貸借対照表に関する注記）

	2026年 5月10日現在
1. 計算期間の末日における受益権の総数	118,376,543,923口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	1口当たり純資産額 9.3572円 (1万口当たり純資産額) (93,572円)

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

	2026年 5月10日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表上の金融商品は原則として時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」に記載しております。 (2) デリバティブ取引 「(デリバティブ取引に関する注記)」に記載しております。 (3) コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。 また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額又は契約上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。

（重要な後発事象に関する注記）

該当事項はありません。

（その他の注記）

元本の移動

区分	2026年 5月10日現在
投資信託財産に係る元本の状況	
期首	2025年11月11日
期首元本額	115,283,507,565円
期中追加設定元本額	6,138,531,743円
期中一部解約元本額	3,045,495,385円
期末元本額	118,376,543,923円
期末元本額の内訳	
S B I 資産設計オープン（資産成長型）	1,059,921,563円
S B I 資産設計オープン（分配型）	4,269,435円
S M T グローバル株式インデックス・オープン	32,390,120,084円
世界経済インデックスファンド	16,602,296,865円
外国株式インデックス・オープン	796,866,482円
D C マイセレクション 2 5	373,432,152円
D C マイセレクション 5 0	2,370,317,393円
D C マイセレクション 7 5	3,580,812,953円
D C 外国株式インデックス・オープン	14,236,275,861円
D C マイセレクション S 2 5	321,046,495円
D C マイセレクション S 5 0	1,844,307,182円
D C マイセレクション S 7 5	2,484,420,677円
D C ターゲット・イヤー ファンド 2 0 3 5	83,326,654円
D C ターゲット・イヤー ファンド 2 0 4 5	78,709,093円
D C 世界経済インデックスファンド	8,610,823,248円
外国株式インデックス・オープン（S M A 専用）	513,985,843円
マイセレクション 5 0 V A 1（適格機関投資家専用）	1,176,225円
マイセレクション 7 5 V A 1（適格機関投資家専用）	2,143,935円
外国株式インデックス・オープン V A 1（適格機関投資家専用）	7,523,859円
バランス 3 0 V A 1（適格機関投資家専用）	2,557,436円
バランス 5 0 V A 1（適格機関投資家専用）	12,096,387円
バランス 2 5 V A 2（適格機関投資家専用）	3,093,465円
バランス 5 0 V A 2（適格機関投資家専用）	11,602,032円
バランス A（2 5）V A 1（適格機関投資家専用）	42,318,327円
バランス B（3 7 . 5）V A 1（適格機関投資家専用）	69,392,930円
バランス C（5 0）V A 1（適格機関投資家専用）	593,032,443円

区分	2026年 5月10日現在
世界バランスVA1（適格機関投資家専用）	37,443,435円
世界バランスVA2（適格機関投資家専用）	5,881,149円
バランスD（35）VA1（適格機関投資家専用）	55,481,809円
バランスE（25）VA1（適格機関投資家専用）	17,572,594円
グローバル・バランスファンド・シリーズ1	591,707,203円
F O F s 用外国株式インデックス・オープン（適格機関投資家専用）	471,874,257円
外国株式ファンド・シリーズ1	1,258,256,876円
コア投資戦略ファンド（安定型）	40,702,056円
コア投資戦略ファンド（成長型）	110,959,784円
分散投資コア戦略ファンドA	1,059,789,298円
分散投資コア戦略ファンドS	5,359,003,280円
D C 世界経済インデックスファンド（株式シフト型）	1,753,729,326円
D C 世界経済インデックスファンド（債券シフト型）	838,017,793円
コア投資戦略ファンド（切替型）	37,625,473円
世界経済インデックスファンド（株式シフト型）	377,475,136円
世界経済インデックスファンド（債券シフト型）	17,682,080円
S M T インデックスバランス・オープン	79,480,772円
サテライト投資戦略ファンド（株式型）	21,072,231円
外国株式 S M T B セレクション（S M A 専用）	2,696,017,122円
S M T 世界経済インデックス・オープン	315,930,585円
S M T 世界経済インデックス・オープン（株式シフト型）	1,645,535,502円
S M T 世界経済インデックス・オープン（債券シフト型）	229,320,229円
S M T 8資産インデックスバランス・オープン	6,675,992円
M y S M T グローバル株式インデックス（ノーロード）	5,682,408,713円
グローバル経済コア	1,966,122,522円
S B I 資産設計オープン（つみたてN I S A 対応型）	16,041,086円
D C ターゲット・イヤー ファンド2055	6,428,293円
コア投資戦略ファンド（切替型ワイド）	34,904,390円
コア投資戦略ファンド（積極成長型）	12,814,316円
D C ターゲット・イヤーファンド（6資産・運用継続型）2030	199,211,490円
D C ターゲット・イヤーファンド（6資産・運用継続型）2040	250,231,944円
D C ターゲット・イヤーファンド（6資産・運用継続型）2050	131,477,193円
D C ターゲット・イヤーファンド（6資産・運用継続型）2060	185,156,696円
10資産分散投資ファンド	49,017,643円
グローバル10資産バランスファンド	31,301,470円
D C 世界経済インデックスファンド（株式特化型）	55,687,017円
D C ターゲット・イヤーファンド（ライフステージ対応型）2035	109,220,020円
D C ターゲット・イヤーファンド（ライフステージ対応型）2040	39,006,452円
D C ターゲット・イヤーファンド（ライフステージ対応型）2045	31,064,190円
D C ターゲット・イヤーファンド（ライフステージ対応型）2050	28,415,256円
D C ターゲット・イヤーファンド（ライフステージ対応型）2055	13,123,450円
D C ターゲット・イヤーファンド（ライフステージ対応型）2060	3,559,952円
D C ターゲット・イヤーファンド（ライフステージ対応型）2065	3,085,878円
D C マイセレクションS50（2024 - 2026 リスク抑制型）	211,822,477円
D C 全世界株式インデックスファンド（オール・カンントリー）	2,068,654,676円
D C ターゲット・イヤー ファンド2065	23,093円
D C ターゲット・イヤーファンド（ライフステージ対応型）2070	11,565円
D C ターゲット・イヤーファンド（ライフステージ対応型）2075	12,045円
D C ターゲット・イヤーファンド（6資産・運用継続型）2070	24,467円
F O F s 用 外国株式インデックス・ファンドS（適格機関投資家専用）	68,785,296円
外株インデックス・ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）	448,640,289円
外株インデックス・ファンド2（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）	426,005,255円
世界株式ファンド（適格機関投資家専用）	1,621,726,588円
F O F s 用世界成長戦略ファンド（適格機関投資家専用）	89,895,538円
ダイナミック・リスクコントロール・バランス戦略ファンド（適格機関投資家専用）	43,491,771円
私募世界経済パッシブファンド（適格機関投資家専用）	70,668,855円
ファンドラップ運用戦略F（中庸型）（適格機関投資家専用）	104,958,878円
グローバル10資産バランス・アクティブ型ファンドN1（適格機関投資家専用）	14,081円
グローバル10資産バランス・アクティブ型ファンドN2（適格機関投資家専用）	10,551円
グローバル10資産バランス・アクティブ型ファンドN3（適格機関投資家専用）	12,461円
グローバル10資産バランス・アクティブ型ファンドN4（適格機関投資家専用）	15,616円
グローバル10資産バランス・アクティブ型ファンドN5（適格機関投資家専用）	12,529円
グローバル10資産バランス・アクティブ型ファンドN6（適格機関投資家専用）	11,909円

区分	2026年 5月10日現在
外国株式インデックスファンドT（一般投資家私募／適格機関投資家転売制限付）	1,130,247,809円
SMTAM海外バランスファンド2021-04（適格機関投資家専用）	120,117,202円

（デリバティブ取引に関する注記）

株式関連

（2026年 5月10日現在）

区分	種類	契約額等(円)		時価 (円)	評価損益 (円)
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引 買建	33,759,987,630	-	36,346,271,273	2,586,283,643
合計		33,759,987,630	-	36,346,271,273	2,586,283,643

（注）1. 時価の算定方法

株価指数先物取引の時価については、計算日に知りうる直近の日の主たる金融商品取引所等の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。

2. 株価指数先物取引の残高は、契約金額ベースで表示しております。

3. 計算日又は計算日に知りうる直近の日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算しております。

4. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。

上記取引でヘッジ会計が適用されているものではありません。

通貨関連

（2026年 5月10日現在）

区分	種類	契約額等(円)		時価 (円)	評価損益 (円)
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引				
	売建	2,557,616,000	-	2,557,717,680	101,680
	アメリカドル	1,821,084,000	-	1,821,151,280	67,280
	ユーロ	736,532,000	-	736,566,400	34,400
合計		2,557,616,000	-	2,557,717,680	101,680

（注）時価の算定方法

わが国における計算日又は計算日に知りうる直近の日の対顧客先物売買相場の仲値によって、以下のように評価しております。

計算日又は計算日に知りうる直近の日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値によって評価しております。

計算日又は計算日に知りうる直近の日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。

上記取引でヘッジ会計が適用されているものではありません。

J - R E I T インデックス マザーファンド

貸借対照表

	2026年 5月10日現在
項目	金額（円）
資産の部	
流動資産	
コール・ローン	2,017,419,093
投資証券	116,415,115,550
派生商品評価勘定	189,280
未収配当金	1,389,873,158
未収利息	39,543
前払金	142,966,890
差入委託証拠金	111,103,930

	2026年 5月10日現在
項目	金額（円）
流動資産合計	120,076,707,444
資産合計	120,076,707,444
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	143,554,370
未払金	81,696,767
未払解約金	55,385,549
流動負債合計	280,636,686
負債合計	280,636,686
純資産の部	
元本等	
元本	49,710,027,995
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	70,086,042,763
元本等合計	119,796,070,758
純資産合計	119,796,070,758
負債純資産合計	120,076,707,444

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

	2026年 5月10日現在
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	投資証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、金融商品取引所等における計算日又は計算日に知りうる直近の日の最終相場(最終相場のないものについては、それに準じる価額)、金融商品取引業者等の提示する価額、価格情報会社の提供する価額又は業界団体が発表する売買参考統計値等に基づいて評価しております。
2. デリバティブの評価基準及び評価方法	先物取引 不動産投信指数先物取引 個別法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、金融商品取引所等の発表する計算日又は計算日に知りうる直近の日の清算値段によっております。 当ファンドにおける派生商品評価勘定は、当該先物取引に係るものであります。
3. 収益及び費用の計上基準	(1)受取配当金 投資証券は、原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 (2)派生商品取引等損益 約定日基準で計上しております。

（貸借対照表に関する注記）

	2026年 5月10日現在
1. 計算期間の末日における受益権の総数	49,710,027,995口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	1口当たり純資産額 2.4099円 (1万口当たり純資産額) (24,099円)

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

	2026年 5月10日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表上の金融商品は原則として時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 売買目的有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」に記載しております。

	2026年 5月10日現在
	(2)デリバティブ取引 「(デリバティブ取引に関する注記)」に記載しております。
	(3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。
3.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。 また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額又は契約上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。

（重要な後発事象に関する注記）

該当事項はありません。

（その他の注記）

元本の移動

区分	2026年 5月10日現在
投資信託財産に係る元本の状況	
期首	2025年11月11日
期首元本額	44,703,753,560円
期中追加設定元本額	6,156,474,081円
期中一部解約元本額	1,150,199,646円
期末元本額	49,710,027,995円
期末元本額の内訳	
S B I 資産設計オープン（資産成長型）	1,850,287,574円
S B I 資産設計オープン（分配型）	7,735,888円
S M T J - R E I T インデックス・オープン	12,991,054,766円
J リートインデックス・オープン（S M A 専用）	23,405,454,692円
コア投資戦略ファンド（安定型）	489,902,181円
コア投資戦略ファンド（成長型）	891,165,329円
分散投資コア戦略ファンドA	1,174,303,448円
分散投資コア戦略ファンドS	3,039,854,721円
コア投資戦略ファンド（切替型）	353,905,074円
S M T インデックスバランス・オープン	24,010,235円
サテライト投資戦略ファンド（株式型）	116,450,806円
S M T 8 資産インデックスバランス・オープン	20,805,806円
グローバル経済コア	1,935,819,657円
S B I 資産設計オープン（つみたてN I S A 対応型）	24,102,675円
コア投資戦略ファンド（切替型ワイド）	257,118,752円
コア投資戦略ファンド（積極成長型）	72,653,624円
M y S M T J - R E I T インデックス（ノーロード）	2,579,655,942円
1 0 資産分散投資ファンド	34,118,189円
グローバル1 0 資産バランスファンド	115,687,432円
F O F s 用 J - R E I T インデックス・ファンドS（適格機関投資家専用）	157,192,840円
F O F s 用世界成長戦略ファンド（適格機関投資家専用）	10,398,366円
ファンドラップ運用戦略F（中庸型）（適格機関投資家専用）	67,257,090円
グローバル1 0 資産バランス・アクティブ型ファンドN 1（適格機関投資家専用）	28,997円
グローバル1 0 資産バランス・アクティブ型ファンドN 2（適格機関投資家専用）	27,081円
グローバル1 0 資産バランス・アクティブ型ファンドN 3（適格機関投資家専用）	28,545円
グローバル1 0 資産バランス・アクティブ型ファンドN 4（適格機関投資家専用）	17,122円
グローバル1 0 資産バランス・アクティブ型ファンドN 5（適格機関投資家専用）	39,546円
グローバル1 0 資産バランス・アクティブ型ファンドN 6（適格機関投資家専用）	24,164円
J - R E I T パッシブ・ファンド 2 0 1 8 - 0 5（適格機関投資家専用）	90,927,453円

（デリバティブ取引に関する注記）

投資証券関連

（2026年 5月10日現在）

--	--	--	--	--

区分	種類	契約額等(円)	うち1年超	時価 (円)	評価損益 (円)
市場取引	不動産投信指数先物取引 買建	3,498,706,890	-	3,355,740,000	142,966,890
合計		3,498,706,890	-	3,355,740,000	142,966,890

(注)1.時価の算定方法

不動産投信指数先物取引の時価については、金融商品取引所等の発表する計算日又は計算日に知りうる直近の日の清算値段で評価しております。

2.不動産投信指数先物取引の残高は、契約金額ベースで表示しております。

3.契約額等には手数料相当額を含んでおりません。

上記取引でヘッジ会計が適用されているものはありません。

グローバルREITインデックス マザーファンド

貸借対照表

	2026年 5月10日現在
項目	金額(円)
資産の部	
流動資産	
預金	782,775,762
コール・ローン	248,774,037
投資証券	178,651,797,555
派生商品評価勘定	34,467,778
未収入金	13,099,100
未収配当金	223,544,324
未収利息	4,876
差入委託証拠金	415,074,341
流動資産合計	180,369,537,773
資産合計	180,369,537,773
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	1,372,618
前受金	32,498,356
未払解約金	116,478,894
流動負債合計	150,349,868
負債合計	150,349,868
純資産の部	
元本等	
元本	47,407,051,538
剰余金	
剰余金又は欠損金()	132,812,136,367
元本等合計	180,219,187,905
純資産合計	180,219,187,905
負債純資産合計	180,369,537,773

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

	2026年 5月10日現在
1.有価証券の評価基準及び評価方法	投資証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、金融商品取引所等における計算日に知りうる直近の日の最終相場(最終相場のないものについては、それに準じる価額)、金融商品取引業者等の提示する価額、価格情報会社の提供する価額又は業界団体が発表する売買参考統計値等に基づいて評価しております。 (1)先物取引

	2026年 5月10日現在
2.デリバティブの評価基準及び評価方法	不動産投信指数先物取引 個別法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、計算日に知りうる直近の日の主たる金融商品取引所等の発表する清算値段又は最終相場によっております。 (2)為替予約取引 個別法に基づき、わが国における計算日又は計算日に知りうる直近の日の対顧客先物売買相場の仲値によって計算しております。 当ファンドにおける派生商品評価勘定は、当該先物取引及び為替予約取引に係るものであります。
3.外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	投資信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算日又は計算日に知りうる直近の日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。 なお、外貨建資産等については、「投資信託財産の計算に関する規則(平成12年総理府令第133号)」第60条の規定に基づき、通貨の種類ごとに勘定を設けて、邦貨建資産等と区分する方法を採用しております。従って、外貨の売買については、同規則第61条の規定により処理し、為替差損益を算定しております。
4.収益及び費用の計上基準	(1)受取配当金 投資証券は、原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 (2)派生商品取引等損益 約定日基準で計上しております。 (3)為替予約取引による為替差損益 約定日基準で計上しております。

（貸借対照表に関する注記）

	2026年 5月10日現在
1. 計算期間の末日における受益権の総数	47,407,051,538口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	1口当たり純資産額 3.8015円 (1万口当たり純資産額) (38,015円)

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

	2026年 5月10日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表上の金融商品は原則として時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 売買目的有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」に記載しております。 (2)デリバティブ取引 「(デリバティブ取引に関する注記)」に記載しております。 (3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。 また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額又は契約上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。

（重要な後発事象に関する注記）

該当事項はありません。

（その他の注記）

元本の移動

区分	2026年 5月10日現在
投資信託財産に係る元本の状況	
期首	2025年11月11日
期首元本額	46,263,614,767円
期中追加設定元本額	3,750,198,365円
期中一部解約元本額	2,606,761,594円
期末元本額	47,407,051,538円
期末元本額の内訳	
グローバル3資産バランスオープン	41,059,707円
ワールド・ファイブインカム・ファンド（毎月決算型）	64,830,382円
SBI資産設計オープン（資産成長型）	1,330,333,938円
SBI資産設計オープン（分配型）	5,324,340円
SMT グローバルREITインデックス・オープン	10,316,311,233円
グローバルリートインデックス・オープン（SMA専用）	24,604,619,123円
コア投資戦略ファンド（安定型）	330,415,183円
コア投資戦略ファンド（成長型）	1,099,111,025円
分散投資コア戦略ファンドA	1,236,156,154円
分散投資コア戦略ファンドS	3,692,551,170円
コア投資戦略ファンド（切替型）	374,709,233円
SMT インデックスバランス・オープン	96,797,654円
サテライト投資戦略ファンド（株式型）	136,338,622円
SMT 8資産インデックスバランス・オープン	14,595,898円
グローバル経済コア	1,242,272,246円
SBI資産設計オープン（つみたてNISA対応型）	19,275,420円
コア投資戦略ファンド（切替型ワイド）	296,644,518円
コア投資戦略ファンド（積極成長型）	110,701,304円
My SMT グローバルREITインデックス（ノーロード）	713,167,312円
10資産分散投資ファンド	15,719,378円
グローバル10資産バランスファンド	75,427,831円
グローバルリートインデックス・オープン（適格機関投資家専用）	1,165,014,533円
FOS用 グローバルREITインデックス・ファンドS（適格機関投資家専用）	151,236,183円
FOS用世界成長戦略ファンド（適格機関投資家専用）	95,752,116円
ダイナミック・リスクコントロール・バランス戦略ファンド（適格機関投資家専用）	47,716,118円
ファンドラップ運用戦略F（中庸型）（適格機関投資家専用）	57,441,106円
グローバル10資産バランス・アクティブ型ファンドN1（適格機関投資家専用）	21,330円
グローバル10資産バランス・アクティブ型ファンドN2（適格機関投資家専用）	20,212円
グローバル10資産バランス・アクティブ型ファンドN3（適格機関投資家専用）	20,108円
グローバル10資産バランス・アクティブ型ファンドN4（適格機関投資家専用）	30,094円
グローバル10資産バランス・アクティブ型ファンドN5（適格機関投資家専用）	31,704円
グローバル10資産バランス・アクティブ型ファンドN6（適格機関投資家専用）	16,292円
SMTAM海外バランスファンド2021-04（適格機関投資家専用）	73,390,071円

（デリバティブ取引に関する注記）

投資証券関連

（2026年 5月10日現在）

区分	種類	契約額等(円)		時価 (円)	評価損益 (円)
			うち1年超		
市場取引	不動産投信指数先物取引				
	買建	1,444,798,751	-	1,477,297,107	32,498,356
合計		1,444,798,751	-	1,477,297,107	32,498,356

（注）1. 時価の算定方法

不動産投信指数先物取引の時価については、計算日に知りうる直近の日の主たる金融商品取引所等の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。

2. 不動産投信指数先物取引の残高は、契約金額ベースで表示しております。

3. 計算日又は計算日に知りうる直近の日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算しております。

4. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。

上記取引でヘッジ会計が適用されているものではありません。

通貨関連

（2026年 5月10日現在）

区分	種類	契約額等(円)		時価 (円)	評価損益 (円)
			うち1年超		
市場取引以外 の取引	為替予約取引 買建	191,859,770	-	192,456,574	596,804
	アメリカドル	165,833,200	-	166,427,244	594,044
	オーストラリアドル	26,026,570	-	26,029,330	2,760
	合計	191,859,770	-	192,456,574	596,804

(注)時価の算定方法

わが国における計算日又は計算日に知りうる直近の日の対顧客先物売買相場の仲値によって、以下のように評価しております。

計算日又は計算日に知りうる直近の日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値によって評価しております。

計算日又は計算日に知りうる直近の日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。

上記取引でヘッジ会計が適用されているものはありません。

4【委託会社等の概況】

（１）【資本金の額】

2026年 5月29日現在の資本金の額	20億円
発行可能株式総数	12,000株
発行済株式総数	3,000株

（２）【事業の内容及び営業の状況】

投資信託及び投資法人に関する法律に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに金融商品取引法に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行っています。また、金融商品取引法に定める投資助言業務等の関連する業務を行っています。

2026年5月29日現在、委託会社が運用の指図を行っている証券投資信託（マザーファンドを除きます。）は次の通りです。

	本数（本）	純資産総額（百万円）
追加型株式投資信託	516	18,347,905
追加型公社債投資信託	0	0
単位型株式投資信託	32	92,519
単位型公社債投資信託	49	145,663
合計	597	18,586,087

（３）【その他】

(1)定款の変更

委託会社の定款の変更に関しては、株主総会の決議が必要です。

(2)訴訟事件その他の重要事項

2026年 8月10日現在、訴訟事件その他委託会社及びファンドに重要な影響を及ぼした事実及び重要な影響を及ぼすことが予想される事実は生じておりません。

5【委託会社等の経理状況】

- (1) 委託者である三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社（以下「委託者」という。）の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」という。）並びに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）により作成しております。
- なお、財務諸表の金額については、百万円未満の端数を切り捨てて記載しております。

- (2) 委託者は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当事業年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）の財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により監査を受けております。

(1) 【貸借対照表】

		(単位：百万円)		
		前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)	
資産の部				
流動資産				
現金及び預金		18,950	19,266	
金銭の信託		18,214	22,627	
前払費用		238	313	
未収委託者報酬		12,164	14,109	
未収運用受託報酬		6,523	8,501	
未収収益		198	232	
短期差入証拠金		2,476	3,061	
その他		3,072	3,961	
流動資産合計		61,839	72,073	
固定資産				
有形固定資産				
建物	1	189	1	156
器具備品	1	338	1	261
その他	1	4	1	9
有形固定資産合計		532		428
無形固定資産				
ソフトウェア		7,143		6,735
その他		78		85
無形固定資産合計		7,221		6,820
投資その他の資産				
投資有価証券		7,241		6,387
関係会社株式		6,077		6,416
繰延税金資産		1,184		1,767
その他		31		36
投資その他の資産合計		14,534		14,608
固定資産合計		22,289		21,856
資産合計		84,128		93,930

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
預り金	66	72
未払金	8,472	9,776
未払収益分配金	0	0
未払手数料	6,159	7,277
その他未払金	2,313	2,498
未払費用	993	929
未払法人税等	1,743	2,484
賞与引当金	769	850
その他	705	1,664
流動負債合計	12,751	15,778
固定負債		
退職給付引当金	1,104	1,180
資産除去債務	154	154
その他	60	48
固定負債合計	1,319	1,384
負債合計	14,071	17,162
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000	2,000
資本剰余金		
その他資本剰余金	17,239	17,239
資本剰余金合計	17,239	17,239
利益剰余金		
利益準備金	500	500
その他利益剰余金		
別途積立金	2,100	2,100
繰越利益剰余金	48,819	55,588
利益剰余金合計	51,419	58,188
株主資本合計	70,658	77,428
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	454	494
繰延ヘッジ損益	1,056	1,155
評価・換算差額等合計	601	660
純資産合計	70,057	76,767
負債・純資産合計	84,128	93,930

（２）【損益計算書】

（単位：百万円）

前事業年度

当事業年度

(自 2024年4月1日
至 2025年3月31日)(自 2025年4月1日
至 2026年3月31日)

営業収益		
委託者報酬	50,052	53,621
運用受託報酬	12,144	13,510
その他営業収益	369	424
営業収益合計	62,566	67,556
営業費用		
支払手数料	25,372	27,383
広告宣伝費	258	466
公告費	1	-
調査費	6,470	6,679
調査費	1,511	1,684
委託調査費	4,945	4,981
図書費	13	12
営業雑経費	6,296	6,203
通信費	126	119
印刷費	406	356
協会費	57	56
諸会費	45	35
情報機器関連費	5,570	5,568
その他営業雑経費	89	66
営業費用合計	38,399	40,733
一般管理費		
給料	7,585	8,015
役員報酬	476	478
給料・手当	5,753	6,020
賞与	1,355	1,517
退職給付費用	305	289
福利費	812	883
交際費	13	13
旅費交通費	175	171
租税公課	300	357
不動産賃借料	324	323
減価償却費	2,501	2,257
業務委託費	1,399	1,529
諸経費	1,394	1,467
一般管理費合計	14,813	15,309
営業利益	9,353	11,513

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業外収益		
受取利息	64	88
収益分配金	1	28
金銭の信託運用益	-	4,713

投資有価証券売却益	150	54
投資有価証券償還益	0	93
その他	27	98
営業外収益合計	243	5,075
営業外費用		
金銭の信託運用損	207	-
投資有価証券売却損	17	29
投資有価証券償還損	257	1
為替差損	660	873
デリバティブ費用	47	3,472
その他	107	3
営業外費用合計	1,296	4,380
経常利益	8,300	12,208
特別損失		
システム移行関連費用	147	1,417
特別損失合計	147	1,417
税引前当期純利益	8,153	10,791
法人税、住民税及び事業税	2,519	3,728
法人税等還付税額	129	-
過年度法人税等	-	150
法人税等調整額	25	555
法人税等合計	2,364	3,021
当期純利益	5,788	7,769

（３）【株主資本等変動計算書】

前事業年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		その他資本剰余金	資本剰余金合計
当期首残高	2,000	17,239	17,239
当期変動額			
剰余金の配当			
当期純利益			
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）			
当期変動額合計	-	-	-
当期末残高	2,000	17,239	17,239

	株主資本				
	利益剰余金				株主資本合計
	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計	
		別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	500	2,100	45,974	48,574	67,813
当期変動額					
剰余金の配当			2,943	2,943	2,943
当期純利益			5,788	5,788	5,788
株主資本以外の項目 の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	-	2,845	2,845	2,845
当期末残高	500	2,100	48,819	51,419	70,658

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
当期首残高	360	1,071	710	67,103

当期変動額				
剰余金の配当				2,943
当期純利益				5,788
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	94	14	108	108
当期変動額合計	94	14	108	2,954
当期末残高	454	1,056	601	70,057

当事業年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		その他資本剰余金	資本剰余金合計
当期首残高	2,000	17,239	17,239
当期変動額			
剰余金の配当			
当期純利益			
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）			
当期変動額合計	-	-	-
当期末残高	2,000	17,239	17,239

	株主資本				
	利益剰余金				株主資本合計
	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計	
		別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	500	2,100	48,819	51,419	70,658
当期変動額					
剰余金の配当			999	999	999
当期純利益			7,769	7,769	7,769
株主資本以外の項目 の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	-	6,769	6,769	6,769
当期末残高	500	2,100	55,588	58,188	77,428

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
当期首残高	454	1,056	601	70,057
当期変動額				
剰余金の配当				999
当期純利益				7,769
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	39	98	59	59
当期変動額合計	39	98	59	6,710
当期末残高	494	1,155	660	76,767

注記事項

（重要な会計方針）

1．有価証券の評価基準及び評価方法

（1）子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法によっております。

（2）その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

時価法によっております。

（評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定しております。）

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法によっております。

なお、投資事業有限責任組合への出資については、組合契約に規定される決算報告日に応じて入手可能な直近の決算書を基礎とし、持分相当額を純額で取り込む方法によっております。

2．デリバティブの評価基準及び評価方法

時価法によっております。

3．金銭の信託の評価基準及び評価方法

時価法によっております。

4．固定資産の減価償却の方法

（1）有形固定資産

定額法によっております。

（2）無形固定資産

定額法によっております。

ただし、ソフトウェア（自社利用分）については、社内における利用可能期間（5年）に基づいて償却しております。

5．外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として計上しております。

6．引当金の計上基準

（1）賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額のうち当事業年度の負担額を計上しております。

(2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。また、退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については給付算定式基準によっております。過去勤務費用及び数理計算上の差異の損益処理方法は次のとおりであります。

過去勤務費用：発生事業年度に損益処理

数理計算上の差異：各事業年度の発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（10年）による定額法により按分した額を、それぞれ発生の翌事業年度から損益処理

7. 収益及び費用の計上基準

当社は投資運用、投資助言・代理を業として行っており、当該事業において顧客との契約から生じる主な履行義務の内容及び当履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりであります。

(1) 投資信託委託業務

当社は、投資信託契約に基づき投資信託委託サービスを提供し、商品の運用資産残高（以下「AUM」という。）に応じて手数料を受領しております。当該収益は、日次等契約で定められた時期に各ファンドのAUMに固定料率を乗じて計算され、契約期間にわたり認識されます。

(2) 投資一任業務

当社は、投資一任契約に基づき投資一任サービスを提供し、ファンドのAUMに応じて手数料を受領しております。当該収益は、年4回等契約で定められた時期に各ファンドのAUMに固定料率を乗じて計算され、契約期間にわたり認識されます。

(3) 投資助言業務

当社は、投資顧問（助言）契約に基づき投資助言サービスを提供し、ファンドのAUMに応じて手数料を受領しております。当該収益は、年4回等契約で定められた時期に各ファンドのAUMに固定料率を乗じて計算され、契約期間にわたり認識されます。

(4) 成功報酬

当社がファンドの運用成果に応じて受領する成功報酬は、投資一任契約のもと、報酬を受領することが確実にあり、将来返還する可能性が無いと合理的に判断した時点で収益を認識しております。

8. ヘッジ会計の会計処理

(1) ヘッジ会計の方法

繰延ヘッジ処理によっております。

(2) ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段は為替予約、ヘッジ対象は投資有価証券であります。

(3) ヘッジ方針

自己勘定運用管理規程等に基づき、ヘッジ対象に係る為替変動リスクをヘッジしております。

(4) ヘッジ有効性評価の方法

ヘッジ開始時から有効性判定時点までの期間において、ヘッジ対象とヘッジ手段の相場変動の累計額を比較して有効性を判定しております。

9. グループ通算制度の適用

グループ通算制度を適用しております。

（未適用の会計基準等）

リースに関する会計基準等

・「リースに関する会計基準」（企業会計基準第34号 2024年9月13日）

・「リースに関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第33号 2024年9月13日）

ほか、関連する企業会計基準、企業会計基準適用指針、実務対応報告及び移管指針の改正

(1) 概要

国際的な会計基準と同様に、借手のすべてのリースについて資産・負債を計上する等の取扱いを定めるもの。

(2) 適用予定日

2028年3月期の期首より適用予定であります。

(3) 当該会計基準等の適用による影響

当該会計基準等の適用による影響は、評価中であります。

（貸借対照表関係）

1有形固定資産の減価償却累計額

	前事業年度 (2025年3月31日)		当事業年度 (2026年3月31日)	
建 物	253	百万円	286	百万円
器具備品	942	"	1,027	"
その他	1	"	4	"
計	1,197	"	1,318	"

（株主資本等変動計算書関係）

前事業年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式（株）	3,000	-	-	3,000

2. 自己株式に関する事項

該当事項はありません。

3. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の 総額(百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
2024年6月20日 定時株主総会	普通株式	2,943	981,032	2024年3月31日	2024年6月21日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額(百万円)	配当金の原資	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
2025年6月20日 定時株主総会	普通株式	999	利益剰余金	333,333	2025年3月31日	2025年6月23日

当事業年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式（株）	3,000	-	-	3,000

2. 自己株式に関する事項

該当事項はありません。

3. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額(百万円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
2025年6月20日 定時株主総会	普通株式	999	333,333	2025年3月31日	2025年6月23日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2026年6月19日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次のとおり提案しております。

決議	株式の種類	配当金の総額(百万円)	配当金の原資	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
2026年6月19日 定時株主総会	普通株式	4,827	利益剰余金	1,609,052	2026年3月31日	2026年6月22日

(リ - ス取引関係)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(金融商品関係)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、投資信託の運用を業として行っており、資金運用については、自社が運用する投資信託の商品性維持を目的として、当該投資信託を金銭の信託及び投資有価証券として保有しているほか、短期的な預金を中心とする安全性の高い金融資産で運用しております。また、デリバティブ取引については、保有する投資信託に係る将来の為替及び価格の変動によるリスクの軽減を目的としているため金銭の信託及び投資有価証券の範囲内で行うこととし、投機目的のためのデリバティブ取引は行わない方針であります。これらの必要な資金については、内部留保を充てております。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

未収委託者報酬については、ファンドという相手方の性質上、信用リスク及び流動性リスクは極めて低いものと考えております。また、未収運用受託報酬については、信託財産から運用受託者に対して支払われる場合は、ファンドという相手方の性質上、信用リスク及び流動性リスクは極めて低いものと考えており、顧客から直接運用受託者に対して支払われる場合は、当該顧客の信用リスクに晒されておりますが、顧客ごとに決済期日及び残高を管理することにより回収懸念の早期把握や回収リスクの軽減を図っております。

金銭の信託及び投資有価証券は、主に自己で設定した投資信託へのシードマネーの投入によるものであります。これら投資信託の投資対象は株式、公社債等のため、価格変動リスクや信用リスク、流動性リスク、為替変動リスクに晒されておりますが、それらの一部については為替予約、株価指数先物等のデリバティブ取引によりリスクの軽減を図っております。なお、為替変動リスクに係るヘッジについてはヘッジ会計（繰延ヘッジ）を適用しております。ヘッジ会計に関するヘッジ手段とヘッジ対象、ヘッジ方針、ヘッジ有効性評価の方法等については、前述の「重要な会計方針8．ヘッジ会計の会計処理」をご参照ください。

未払金については、全て1年以内の支払期日であります。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

当社では、リスク管理に係る基本方針を「リスク管理規程」として定め、以下のとおり、リスク・カテゴリー毎に管理しております。

信用リスク（取引先の契約不履行等に係るリスク）の管理

営業債権の管理については、顧客ごとに決済期日及び残高を管理し、また自己査定要領に基づき定期的に債権内容の検討を行うことにより回収懸念の早期把握や回収リスクの軽減を図っております。

デリバティブ取引は、取引相手先として高格付を有する金融機関に限定しております。

市場リスク（為替や金利等の変動リスク）の管理

有価証券投資については、自己勘定運用方針にて投資限度額や投資期間等を定めており、投資後も適宜時価を把握し、保有状況を継続的に見直しております。投資信託の為替変動リスクに対しては、それらの一部について為替予約を利用してヘッジしております。また、価格変動リスクを軽減するために、株価指数先物等のデリバティブ取引を利用しております。

資金調達に係る流動性リスク（支払期日に支払いを実行できなくなるリスク）の管理

当社は、年度事業計画を策定し、これに基づいて必要となる資金を検討し、充足する十分な手元流動性を維持することで、流動性リスクを管理しております。

（４）金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

２．金融商品の時価等及び時価のレベルごとの内訳等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額並びにレベルごとの内訳等については、次のとおりであります。なお、市場価格のない株式等、「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下、「時価算定適用指針」という。）第24-3項を適用した投資信託及び第24-16項を適用した組合出資金等は、次表には含まれておりません（（１）*2及び（注2）、（注4）参照）。

また、金融商品の時価を、時価の算定に係るインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産または負債に関する相場価格により算定した時価

レベル2の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

（１）時価をもって貸借対照表計上額とする金融資産及び金融負債

前事業年度（2025年3月31日）

区 分	貸借対照表計上額（百万円）（*1）			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
金銭の信託	2,551	15,662	-	18,214
投資有価証券(*2)				
其他有価証券	-	3,785	-	3,785
資産計	2,551	19,448	-	21,999
デリバティブ取引(*3)				
株式関連取引	(128)	235	-	106
通貨関連取引	-	78	-	78
デリバティブ取引計	(128)	314	-	185

（*1）負債に計上されているものについては、（ ）で示しております。

（*2）投資有価証券のうち、非上場株式（貸借対照表計上額887百万円）、時価算定適用指針第24-3項の基準価額を時価とみなす取扱いを適用した投資信託（貸借対照表計上額1,976百万円）及び第24-16項を適用した組合出資金等（貸借対照表計上額592百万円）は上記に含めておりません。

（*3）デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しております。

当事業年度（2026年3月31日）

区 分	貸借対照表計上額（百万円）（*1）			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
金銭の信託	3,166	19,460	-	22,627
投資有価証券(*2)				
其他有価証券	-	2,764	-	2,764
資産計	3,166	22,224	-	25,391
デリバティブ取引(*3)				
株式関連取引	548	596	-	1,144
通貨関連取引	-	(60)	-	(60)
デリバティブ取引計	548	535	-	1,083

（*1）負債に計上されているものについては、（ ）で示しております。

（*2）投資有価証券のうち、非上場株式（貸借対照表計上額961百万円）、時価算定適用指針第24-3項の基準価額を時価とみなす取扱いを適用した投資信託（貸借対照表計上額1,974百万円）及び第24-16項を適用した組合出資金等（貸借対照表計上額687百万円）は上記に含めておりません。

（*3）デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しております。

（２）時価をもって貸借対照表計上額としない金融資産及び金融負債

現金及び預金、未収委託者報酬、未収運用受託報酬、短期差入証拠金、未払金は、短期間（1年以内）で決済されるものが大半を占めており、時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

（注1）時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

金銭の信託

金銭の信託の信託財産のうち、上場投資信託は、取引所の価格を時価としており、市場の活発性に基づき、レベル1の時価に分類しております。金銭の信託の信託財産のうち、私募投信等、市場における取引価格が存在しない投資信

託については、解約又は買戻請求に関して市場参加者からリスクの対価を求められるほどの重要な制限がない場合には基準価額等を時価としており、レベル2の時価に分類しております。金銭の信託の信託財産のうち、銀行勘定貸については取引先金融機関から提供された価格により算定しており、当該価格は活発な市場における相場価格とは認められないため、レベル2の時価に分類しております。

投資有価証券
私募投信等、市場における取引価格が存在しない投資信託については、解約又は買戻請求に関して市場参加者からリスクの対価を求められるほどの重要な制限がない場合には基準価額等を時価としており、レベル2の時価に分類しております。時価算定適用指針第24-3項の取り扱いを適用し、基準価額を時価とみなした投資信託はレベルを付してありません。

デリバティブ取引
株価指数先物の時価は、金融商品取引所が定める清算指数を用いて評価しております。株価指数先物は活発な市場で取引されているため、その市場価格をレベル1の時価に分類しております。為替予約及びトータルリターンスワップの時価は、為替レートや金利や株価等の観察可能なインプットを用いた割引現在価値法等により取引先金融機関が算定した価格を時価の算定に用いており、当該価格は活発な市場における相場価格とは認められないため、レベル2の時価に分類しております。

(注2) 市場価格のない株式等の貸借対照表計上額は次のとおりであります。

(単位:百万円)

区分	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
投資有価証券	887	961
関係会社株式	6,077	6,416

(注3) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

前事業年度(2025年3月31日)

(単位:百万円)

	1年以内	1年超5年以内	5年超10年以内	10年超
現金及び預金	18,950	-	-	-
未収委託者報酬	12,164	-	-	-
未収運用受託報酬	6,523	-	-	-
投資有価証券 投資信託	-	2,053	2,400	-

当事業年度(2026年3月31日)

(単位:百万円)

	1年以内	1年超5年以内	5年超10年以内	10年超
現金及び預金	19,266	-	-	-
未収委託者報酬	14,109	-	-	-
未収運用受託報酬	8,501	-	-	-
投資有価証券 投資信託	0	1,787	1,997	-

(注4) 時価算定適用指針第24-3項の取扱いを適用した投資信託に関する情報

前事業年度(2025年3月31日)

第24-3項の取扱いを適用した投資信託の期首残高から期末残高への調整表

(単位:百万円)

区分	期首残高	当期の損益に計上した額	その他有価証券評価差額金に計上した額	購入、売却及び償還による変動額	基準価額を時価とみなすこととした額	基準価額を時価とみなさないこととした額	期末残高	当期の損益に計上した額のうち貸借対照表日において保有する投資信託の評価損益
投資有価証券 (その他有価証券)	-	-	23	2,000	1,976	-	1,976	-

(注) 決算日における解約等に関する制限の主な内容は、一定期間の解約制限があるものが1,976百万円であります。

当事業年度(2026年3月31日)

第24-3項の取扱いを適用した投資信託の期首残高から期末残高への調整表

(単位:百万円)

区分	期首残高	当期の損益に計上した額	その他有価証券評価差額金に計上した額	購入、売却及び償還による変動額	基準価額を時価とみなすこととした額	基準価額を時価とみなさないこととした額	期末残高	当期の損益に計上した額のうち貸借対照表日において保有する投資信託の評価損益
投資有価証券 (その他有価証券)	1,976	-	2	-	1,974	-	1,974	-

(注) 決算日における解約等に関する制限の主な内容は、一定期間の解約制限があるものが1,974百万円であります。

(有価証券関係)

1. 子会社株式及び関連会社株式

市場価格のある子会社株式及び関連会社株式はありません。

なお、市場価格のない子会社株式及び関連会社株式の貸借対照表計上額は以下のとおりであります。

区分	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
子会社株式	6,077	6,077
関連会社株式	-	338
合計	6,077	6,416

2. その他有価証券

前事業年度（2025年3月31日）

（単位：百万円）

区分	貸借対照表 計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
その他	3,110	2,402	708
小計	3,110	2,402	708
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
その他	2,651	2,712	61
小計	2,651	2,712	61
合計	5,762	5,115	647

当事業年度（2026年3月31日）

（単位：百万円）

区分	貸借対照表 計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
その他	2,169	1,505	663
小計	2,169	1,505	663
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
その他	2,569	2,602	33
小計	2,569	2,602	33
合計	4,738	4,108	630

非上場株式及び組合出資金等は、市場価格のない株式等のため、上表の「その他有価証券」に含めておりません。

なお、市場価格のない株式等の貸借対照表計上額は次のとおりであります。

（単位：百万円）

区分	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
非上場株式	887	961
組合出資金等	592	687

3. 事業年度中に売却したその他有価証券

前事業年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：百万円）

区分	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
その他	528	150	17

当事業年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：百万円）

区分	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
その他	1,231	54	29

（デリバティブ取引関係）

1. ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

（1）通貨関連

前事業年度（2025年3月31日）

種類		契約額等 (百万円)	契約額等の うち1年超 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
店頭	為替予約取引				
	売建				
	米ドル	5,575	-	37	37
	英ポンド	141	-	0	0
	カナダドル	118	-	0	0
	スイスフラン	52	-	0	0
	香港ドル	166	-	1	1
	ユーロ	425	-	1	1
	買建				
	米ドル	139	-	0	0
	英ポンド	5	-	0	0
	カナダドル	6	-	0	0
	スイスフラン	5	-	0	0
	香港ドル	1	-	0	0
	ユーロ	16	-	0	0
合計		6,654	-	41	41

（注）上記取引の評価損益は損益計算書に計上しています。

当事業年度（2026年3月31日）

種類		契約額等 (百万円)	契約額等の うち1年超 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
店頭	為替予約取引				
	売建				
	米ドル	7,470	-	64	64
	英ポンド	296	-	2	2
	カナダドル	139	-	0	0
	スイスフラン	38	-	0	0
	オーストラリアドル	119	-	0	0
	香港ドル	189	-	1	1
	ユーロ	1,193	-	2	2
	人民元	469	-	2	2
	買建				
	米ドル	50	-	0	0
	カナダドル	2	-	0	0
	オーストラリアドル	11	-	0	0
	香港ドル	0	-	0	0
	ユーロ	7	-	0	0
合計		9,987	-	61	61

（注）上記取引の評価損益は損益計算書に計上しています。

（2）株式関連

前事業年度（2025年3月31日）

種類		契約額等 (百万円)	契約額等の うち1年超 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
市場取引	株価指数先物取引				
	売建	9,848	-	128	128
店頭	トータルリターンスワップ取引				
	売建	6,179	-	235	235
合計		16,027	-	106	106

（注）上記取引の評価損益は損益計算書に計上しています。

当事業年度（2026年3月31日）

種類		契約額等 (百万円)	契約額等の うち1年超 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
市場取引	株価指数先物取引 売建	14,034	-	548	548
店頭	トータルリターンスワップ取引 売建	6,825	-	596	596
合計		20,860	-	1,144	1,144

（注）上記取引の評価損益は損益計算書に計上しています。

2. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

(1) 通貨関連

前事業年度（2025年3月31日）

ヘッジ 会計の方法	デリバティブ取引 の種類等	主なヘッジ対象	契約額等 (百万円)	契約額等の うち1年超 (百万円)	時価 (百万円)
原則的 処理方法	為替予約取引	投資有価証券 関係会社株式			
	売建				
	米ドル		1,947	-	13
	英ポンド		4,700	-	19
	スイスフラン		47	-	0
	香港ドル		122	-	0
	ユーロ		40	-	0
	シンガポールドル		449	-	3
	買建				
	米ドル		16	-	0
香港ドル	94	-	0		
合計			7,419	-	36

当事業年度（2026年3月31日）

当事業年度（2020年5月31日）					
ヘッジ 会計の方法	デリバティブ取引 の種類等	主なヘッジ対象	契約額等 (百万円)	契約額等の うち1年超 (百万円)	時価 (百万円)
原則的 処理方法	為替予約取引 売建	投資有価証券			
	米ドル		730	-	6
	英ポンド		882	-	6
	スイスフラン		42	-	0
	オーストラリアドル		18	-	0
	香港ドル		3	-	0
	ユーロ		55	-	0
合計			1,732	-	0

(退職給付関係)

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として退職一時金制度を、また、確定拠出型の制度として確定拠出年金制度を採用しております。

2. 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
退職給付債務の期首残高	993	970
勤務費用	165	138

利息費用	3	19
数理計算上の差異の発生額	150	40
退職給付の支払額	42	68
簡便法で計算した退職給付費用	0	-
退職給付債務の期末残高	970	1,019

（２）年金資産の期首残高と期末残高の調整表
該当事項はありません。

（３）退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表
（単位：百万円）

	前事業年度 （2025年3月31日）	当事業年度 （2026年3月31日）
非積立型制度の退職給付債務	970	1,019
未認識数理計算上の差異	134	161
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	1,104	1,180
退職給付引当金	1,104	1,180
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	1,104	1,180

（４）退職給付費用及びその内訳項目の金額
（単位：百万円）

	前事業年度 （自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）	当事業年度 （自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）
勤務費用	165	138
利息費用	3	19
数理差異償却	1	13
簡便法で計算した退職給付費用	0	-
確定給付制度に係る退職給付費用	171	143

（５）年金資産に関する事項
該当事項はありません。

（６）数理計算上の計算基礎に関する事項

	前事業年度 （自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）	当事業年度 （自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）
割引率	2.0%	2.0%

３．確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、前事業年度134百万円、当事業年度145百万円であります。

（税効果会計関係）

１．繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	前事業年度 （2025年3月31日）	当事業年度 （2026年3月31日）
繰延税金資産		
未払事業税	104 百万円	155 百万円
賞与引当金損金算入限度超過額	235 "	267 "
退職給付引当金損金算入限度超過額	348 "	372 "
税務上の収益認識差額	84 "	482 "
税務上の費用認識差額	94 "	183 "
繰延ヘッジ損益	486 "	531 "
その他	84 "	74 "
繰延税金資産 合計	1,437 "	2,066 "
繰延税金負債		
有価証券評価差額	209 "	227 "
その他	43 "	71 "
繰延税金負債 合計	252 "	299 "
繰延税金資産の純額	1,184 "	1,767 "

（表示方法の変更）

前事業年度において、「繰延税金資産」の「その他」に含めていた「税務上の収益認識差額」は金額的重要性が増したため、当事業年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の「繰延税金資産」の「その他」に表示していた169百万円は、「税務上の収益認識差額」84百万円、「その他」84百万円として組み替えております。

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主な項目別の内訳

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
法定実効税率 (調整)	30.62%	30.62%
交際費等永久に損金に算入されない項目	0.14%	0.23%
受取配当金等永久に益金に算入されない項目	0.06%	0.02%
法人税額の特別控除額	-	1.24%
法人税等還付税額	1.59%	-
過年度法人税等	-	1.40%
その他	0.10%	0.19%
税効果会計適用後の法人税等の負担率	29.01%	28.00%

3. 法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理

当社は、グループ通算制度を適用しております。また、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日）に従って、法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理並びに開示を行っております。

（資産除去債務関係）

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

（収益認識関係）

1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報
重要性が乏しいため記載を省略しております。

2. 顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報
顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報は、「重要な会計方針7.収益及び費用の計上基準」に記載の通りです。

3. 顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当事業年度末において存在する顧客との契約から翌事業年度以降に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報
重要性が乏しいため記載を省略しております。

（セグメント情報等）

〔セグメント情報〕

当社は資産運用に関する事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

〔関連情報〕

1. 製品及びサービスごとの情報
単一の製品・サービスの区分の営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

内国籍投資信託又は本邦顧客からの営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

前事業年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

顧客の名称	営業収益
三井住友信託銀行株式会社	11,023百万円

当事業年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

顧客の名称	営業収益
三井住友信託銀行株式会社	11,381百万円

〔報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報〕

該当事項はありません。

〔報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報〕

該当事項はありません。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

該当事項はありません。

（持分法損益等）

（単位：百万円）

	前事業年度 （自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）	当事業年度 （自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）
関連会社に対する投資の金額	-	338
持分法を適用した場合の投資の金額	-	2,294
持分法を適用した場合の投資利益の金額	-	1,956

（関連当事者情報）

1．関連当事者との取引

財務諸表提出会社と関連当事者の取引

（ア）財務諸表提出会社の親会社
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

（イ）財務諸表提出会社の子会社及び関連会社等
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

（ウ）財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社等及び財務諸表提出会社のその他の関係会社の子会社等
前事業年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

種類	会社等の 名称 又は氏 名	所在地	資本金又は 出資金 （百万円）	事業の 内容又 は職業	議決権等 の所有 （被所有） 割合（％）	関連当 事者 との関 係	取引の 内容	取引金額 （百万 円）	科目	期末残高 （百万円）
親会社 の子会 社	三井住友 信託銀行 （株）	東京都 千代田区	342,037	信託業務及 び銀行業務	-	営業上の 取引	運用受託報 酬	10,721	未収運用 受託報酬	5,856
							投信販売 代行手数料 等	11,500	未払 手数料	2,813

（注）1．上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2．取引条件及び取引条件の決定方針等

運用受託報酬

各運用受託案件について、それぞれ合理的な水準にて助言料率を決定しております。

投信販売代行手数料等

ファンド毎の手数料率については、一般取引先に対する取引条件と同様に決定されております。

当事業年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

種類	会社等の 名称 又は氏 名	所在地	資本金又は 出資金 （百万円）	事業の 内容又 は職業	議決権等 の所有 （被所有） 割合（％）	関連当 事者 との関 係	取引の 内容	取引金額 （百万 円）	科目	期末残高 （百万円）
親会社 の子会 社	三井住友 信託銀行 （株）	東京都 千代田区	342,037	信託業務 及び銀行 業務	-	営業上の 取引	運用受託報 酬	11,085	未収運用 受託報酬	6,573
							投信販売 代行手数料 等	12,957	未払 手数料	3,385

（注）1．上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2．取引条件及び取引条件の決定方針等

運用受託報酬

各運用受託案件について、それぞれ合理的な水準にて助言料率を決定しております。

投信販売代行手数料等

ファンド毎の手数料率については、一般取引先に対する取引条件と同様に決定されております。

（エ）財務諸表提出会社の役員及び主要株主（個人の場合に限る。）等
該当事項はありません。

2．親会社又は重要な関連会社に関する注記

（1）親会社情報

前事業年度（2025年3月31日）

三井住友トラストグループ株式会社（東京証券取引所、名古屋証券取引所に上場）

当事業年度（2026年3月31日）

三井住友トラストグループ株式会社（東京証券取引所、名古屋証券取引所に上場）

（１株当たり情報）

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	23,352,414円83銭	25,589,114円14銭
1株当たり当期純利益金額	1,929,475円95銭	2,589,795円05銭

(注) １．潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

２．1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	5,788百万円	7,769百万円
普通株主に帰属しない金額	-	-
普通株式に係る当期純利益	5,788百万円	7,769百万円
普通株式の期中平均株式数	3,000株	3,000株

独立監査人の監査報告書

2026年6月1日

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

三 上 和 彦

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

成 田 慎 一 郎

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社の2025年4月1日から2026年3月31日までの第40期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社の2026年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、監査した財務諸表を含む開示書類に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。

当監査法人は、その他の記載内容が存在しないと判断したため、その他の記載内容に対するいかなる作業も実施していない。

財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。

- ・財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）１．上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

２．XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2026年7月22日

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ
東京事務所

指定有限責任社員 業務執行社員 公認会計士 中島紀子

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているSBI資産設計オープン（資産成長型）の2025年11月11日から2026年5月10日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、SBI資産設計オープン（資産成長型）の2026年5月10日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2025年11月11日から2026年5月10日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生

する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）１．上記は中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

２．XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。